

藤沢市 少年の森

再整備基本方針

2024年（令和6年）3月

藤沢市

<目次>

1	はじめに	1
1-1.	位置づけ.....	1
1-2.	背景、目的.....	1
1-3.	上位計画、関連計画等.....	1
2	施設の概要	3
2-1.	施設の周辺環境.....	3
2-2.	施設の概要.....	5
2-3.	市街化調整区域について.....	8
2-4.	施設の利用状況.....	9
2-5.	施設に係わる財政等の課題.....	11
3	再整備に向けて	13
3-1.	公民連携による公共施設の再整備.....	13
3-2.	検討・推進していく上で大切な視点.....	15
3-3.	子どもの学びの場としての森林・自然環境.....	15
4	現況の把握と整理	16
4-1.	アンケートおよびヒアリング調査.....	16
4-2.	過去の調査事項（サウンディング調査結果）.....	20
4-3.	アウトドア市場概況.....	22
4-4.	ポジショニングの検討.....	23
5	再整備の基本方針	28
5-1.	再整備で目指す施設の方向性.....	28
5-2.	再整備で目指す施設の在り方.....	28
5-3.	基本方針（案）の提示と共有（「パブリックイベント」の開催）.....	29
6	今後の進め方	30
7	資料編	31
7-1.	アンケートおよびヒアリング調査.....	32
7-2.	アウトドア市場概況.....	42
7-3.	パブリックイベント開催結果.....	45

1 はじめに

1-1.位置づけ

この基本方針は、藤沢市少年の森（以下「少年の森」という。）の再整備に向けた基本的な構想の策定に当たり、施設情報や施設の可能性調査と整理、庁内方針の検討などを行い、再整備後の施設の方向性及びその在り方について、藤沢市としての考えを示すものです。

1-2.背景、目的

少年の森は、国際児童年記念事業として、1980年(昭和55年)5月5日に藤沢市が開設した青少年野外活動施設で、藤沢市の北部に位置しています。

建設から40年以上が経った現在でも、自然豊かで緑あふれる施設内にはアスレチックコースや木製遊具、キャンプ場、宿泊研修施設などが設置され、多くの青少年団体や青少年育成団体、学校、市民に利用されています。

一方で、施設の老朽化も著しく、建物・設備等の更新時期を迎えており、アスレチック等の安全性確保や施設快適性の確保が求められています。また、令和4年度には少年の森に近接して「遠藤笹窪谷（やと）公園」がオープンし、周辺地域との連携による北部地域全体の活性化などが期待されています。

本方針では、これらの状況を踏まえ、少年の森再整備の方向性及び施設の在り方を示しており、今後この方針に基づき、再整備に向けた事業内容や手法について、具体的な検討を進めていきます。

1-3.上位計画、関連計画等

この方針に関連する藤沢市の計画等は下記のとおりです。

●「藤沢市少年の森条例」・「藤沢市少年の森条例施行規則」

少年の森が設置された根拠となる条例・規則で、藤沢市の少年の心身の健全な発達を図るという設置目的や、使用者の範囲、休園日、供用時間などの基本的事項を定めています。

●「藤沢市市政運営の総合指針2024」

「郷土愛あふれる藤沢」をめざす都市像として、将来に向けての長期・短期の課題や見通

しを踏まえながら、市政運営の考え方や方針、施策を「基本方針」と「重点方針」として策定しています。

少年の森再整備事業は、重点方針のまちづくりテーマのひとつである「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」に対応する重点施策のうち、「子どもの健やかな成長に向けた支援の充実」を図る施策のひとつとして位置づけられています。

●「藤沢市公共施設再整備基本方針」

公共施設の多くが施設更新の時期を迎える中、課題を先送りにすることなく、継続的な行政サービスの提供を可能にする公共施設の再整備を進めることを目的に策定し、その基本的な考え方を公共施設の「安全性の確保」「長寿命化」「機能集約・複合化による施設数の縮減」に整理しています。

●「第3次藤沢市公共施設再整備プラン」

「藤沢市公共施設再整備基本方針」の実現のため、短期プランと長期プランを定め、中長期的な公共施設の再整備に対する計画を策定しています。このうち長期プランの中に少年の森の再整備が位置づけられています。

●「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画」

藤沢市の子ども・子育て分野における全体計画であり、その基本的な方向性を「未来を創る子ども・若者が健やかに成長する子育てにやさしいまち ～だれひとり取り残さない あたたかい地域共生社会の実現に向けて～」と定め、社会全体で子どもを産み育てやすい環境づくりに取り組むよう策定しています。

この計画で定める基本目標のひとつである「豊かな心を育む教育環境の整備」のための施策の柱のひとつに「青少年の健全育成と非行防止活動の推進」があり、その中に「地域の子どもの家・児童館等青少年施設の充実」が位置づけられています。

●「藤沢市子どもの居場所づくり推進計画」

「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」を補完する計画として、藤沢市における子どもの居場所づくりに関連する施策を体系化し、就学児童の居場所を推進するために策定しています。この計画の中で少年の森は子どもの居場所として位置づけられています。

2 施設の概要

2-1.施設の周辺環境

藤沢市は、神奈川県中央部に位置しています。藤沢市南部はJRや江ノ島電鉄などの鉄道が通り、観光地としても人気があり、新たな宅地開発が進む一方、北部は豊かな自然が残っています。海と森が近い距離にあることも藤沢市の大きな特徴です。

少年の森が立地する打戻地区は、大山や富士山を眺めることのできる高台に位置し、農業も盛んです。交通としては、公共交通機関利用の場合は、湘南台駅から路線バスを利用して25分程度なので、都心部からは90分程度でアクセスが可能であり、また車利用の場合は、近接した位置にある寒川北ICからは15分程度の立地となっています。利用者は市内を中心に周辺市町村からも来訪者が見られるほか、小中学校の遠足地としての利用も多く見られます。

また、2022年には近接して「遠藤笹窪谷（やと）公園」が開園し、環境教育の場として活用することにより生物多様性の普及啓発につなげる「生物多様性サテライトセンター」が設置されています。

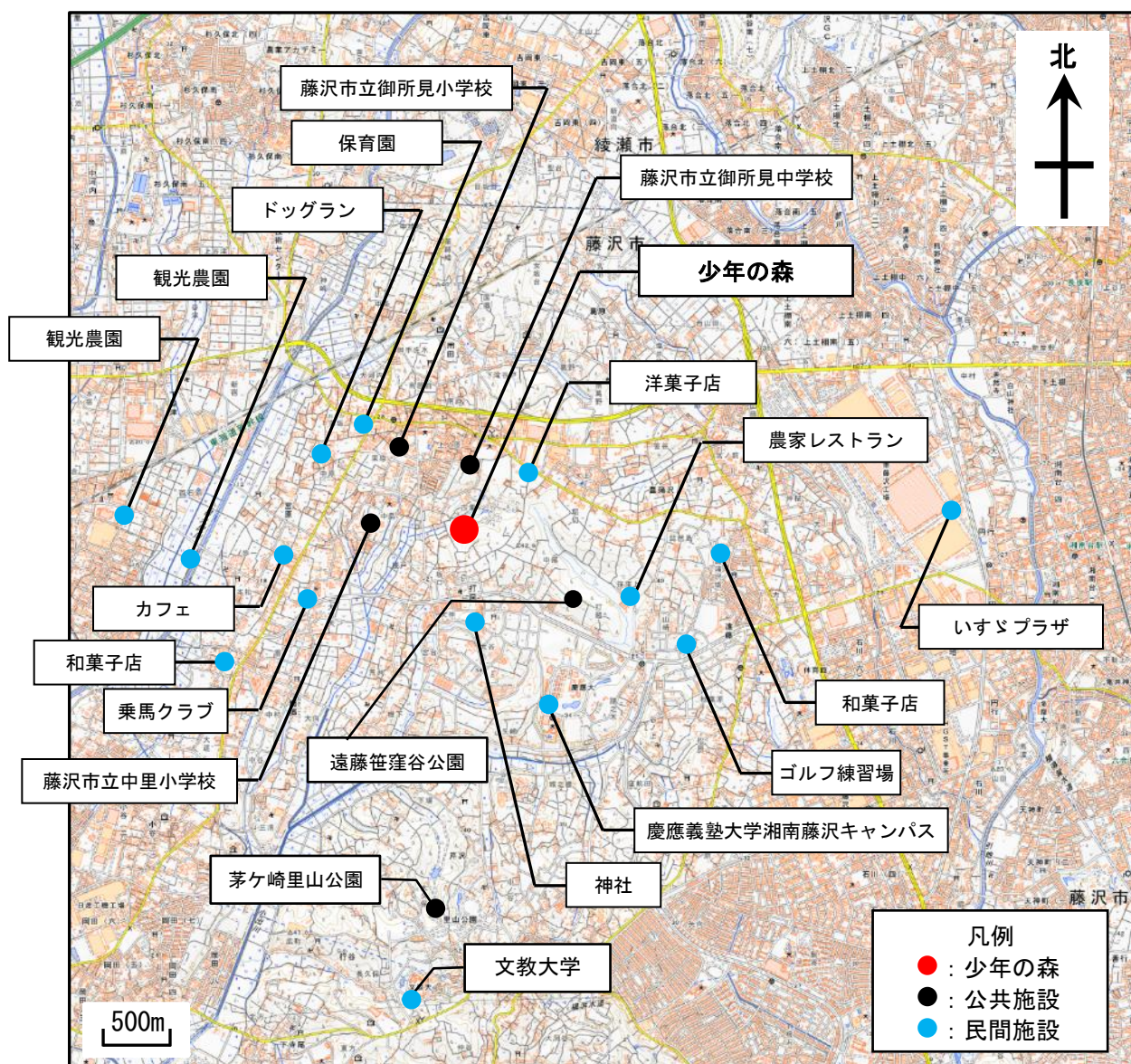


(出典：国土地理院地図)

少年の森周辺の施設等の立地状況を見ると、農家レストランやカフェ、和菓子や洋菓子店、観光農園、ドッグランや乗馬クラブ等の店舗等が点在しています。

少年の森の南側、約1km の位置には、慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス、その先には文教大学等の文教施設があり、少年の森の東側、約3km の位置には、いすゞプラザがあります。

周辺の商業施設としては、北側、東側にロードサイド型の量販店、スーパーマーケット等が見られます。



(出典：国土地理院地図)

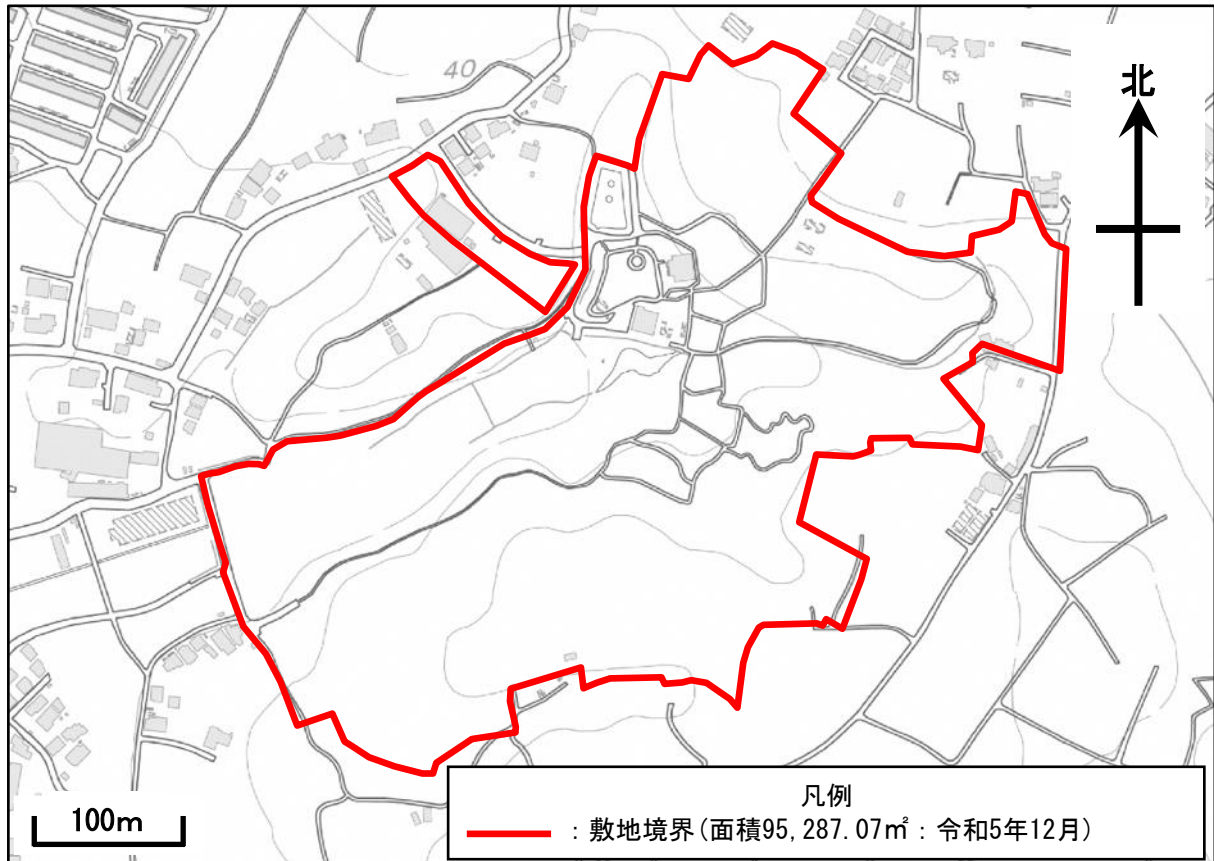
2-2.施設の概要

少年の森の所在地、面積、都市計画法に基づく用途地域等の状況は、【表1】に示すとおりです。また、敷地形状は、【図1】に示すとおりです。

【表1】 所在地、面積、都市計画法に基づく用途地域等の状況

項目	内容
所在地	神奈川県藤沢市打戻2345
既存施設名	藤沢市少年の森
敷地面積	95,287.07m ² (令和5年12月現在)
都市計画区域	都市計画区域内
区域区分	市街化調整区域
用途地域	—
地区別の規制等 (A地区：一般基準地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・建ぺい率：50% ・容積率：80% ・道路斜線規制：斜線勾配：1.25 ・隣地斜線規制：斜線勾配：1.25 ・建築基準法第22条区域（建築物の屋根を不燃材で葺くなどの措置） ・日影規制 対象建築物：軒高7m超又は地上3階建て以上の建築物 測定面：平均地盤面から1.5m 日影時間：5mを超え10m以内の範囲3時間/10mを超える範囲2時間
土砂災害に関する区域	<ul style="list-style-type: none"> ・用地の東側端部が土砂災害警戒区域に指定されている。
液状化の区分	<ul style="list-style-type: none"> ・市が示す液状化危険度マップでは、用地の東側端部が、液状化現象が発生する危険度が高いエリア、また北西部分と南西部分は、液状化現象が発生する危険度がやや高いエリアとなっている。
藤沢市景観計画上の位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画区域として、景観に大きな影響を与える大規模建築物等について、届出制度により景観の誘導を図るエリア
鳥獣保護区の位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県知事指定の鳥獣保護区となっている。
その他の規制等	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市計画法」及び「都市計画法に基づく開発許可の基準等に関する条例」に基づき開発許可が必要となる。ただし、区域の一部で藤沢市長が「都市計画法」及び「都市計画法に基づく開発許可の基準等に関する条例」に基づき開発許可を受けている ・1ha以上の土地の区画形質の変更を行う場合においては、「神奈川県土地利用調整条例」に基づき神奈川県知事と土地利用に関する調整が必要となる。 ・当該敷地の一部の区域は、「森林法」に基づいて計画された地域森林計画の対象となっている民有林が含まれており、1ha以上の地域森林計画の対象となっている民有林の区画形質の変更を行う場合は、神奈川県知事による開発の許可を受けることが必要となる。

【図1】 少年の森敷地形状



現在、少年の森については供用中であり、既存の施設があります。その概要は【表2】に示すとおりです。

【表2】 既存施設の概要

施設名		施設概要
宿泊研修施設 「かわせみハウス」		木造2階建(延床面積 257.72㎡) (平成17年4月竣工) 1階: 研修ホール、多目的室(宿泊室) 2室、シャワー室、トイレ 2階: 宿泊室 3室、トイレ
管理棟		RC造2階建(延床面積 299.56㎡) (昭和55年2月竣工)
休憩棟		木造平屋建(延床面積 24.84㎡) (平成12年3月竣工)
フィールドアスレチック		わんぱく広場・営火場: アスレチック(20基)を配置 その他に木製遊具(9基)を配置
自然散策路 (グリーンアドベンチャー)		少年の森の散策路
キャンプ場	キャンプ用倉庫	木造平屋建(延床面積 43.20㎡) (平成11年12月竣工)
	屋外調理場	木造平屋建(延床面積 32.40㎡) (昭和55年2月竣工)
	屋外調理場(第2)	木造平屋建(延床面積 54.00㎡) (昭和56年6月竣工)

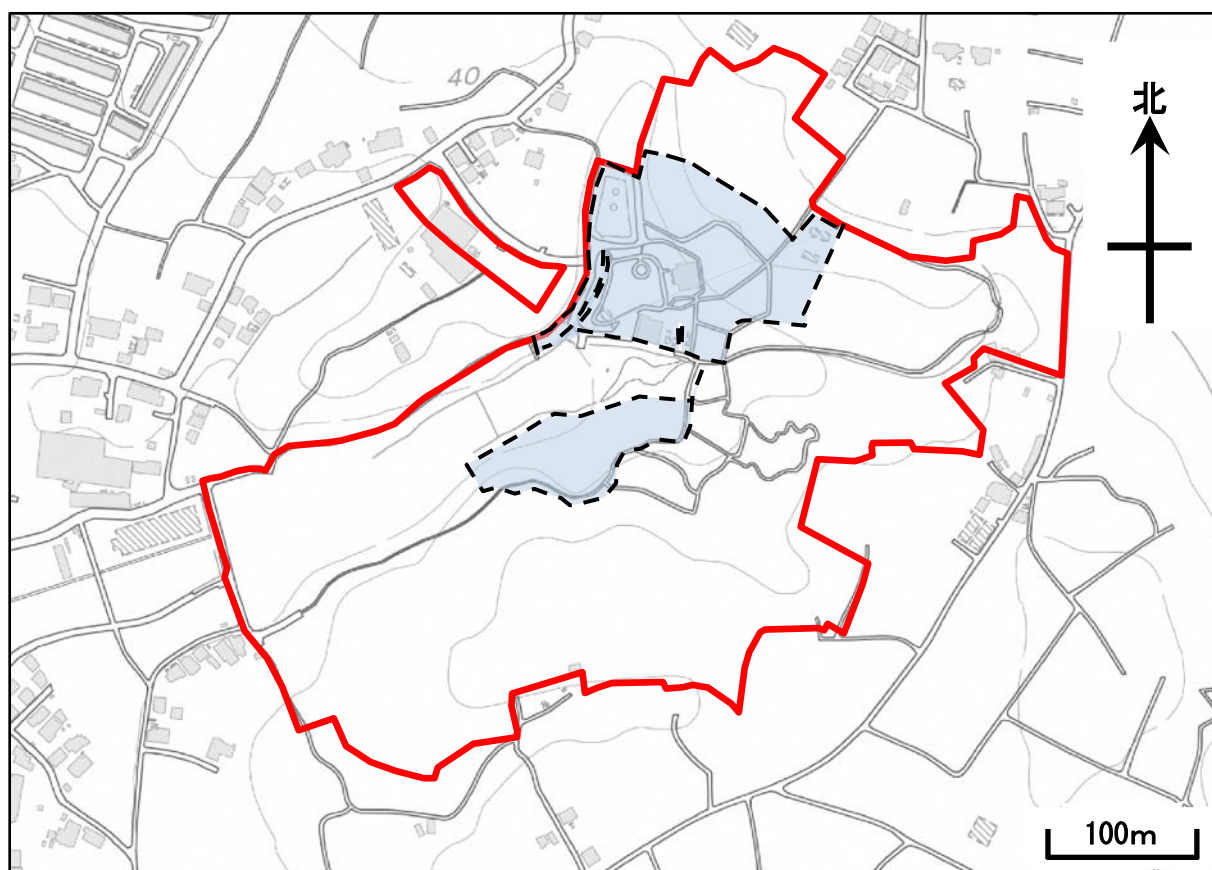
施設名		施設概要
	休憩棟	木造平屋建（延床面積 28.98㎡）（平成12年3月竣工）
	第二休憩所	木造平屋建（延床面積 31.88㎡）（平成22年3月竣工）
	野外便所	木造平屋建（延床面積 23.20㎡）（昭和55年2月竣工）
	多目的トイレ	木造平屋建（延床面積 4.14㎡）（平成13年3月竣工）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーブル（木製27基）、ベンチ（木製54基）、テント（布製）（テントサイトは160人が利用可能） ・ キャンプ場は家族や団体会で日帰りや宿泊利用が可能 ・ 日帰りキャンプ：通年 ・ 宿泊キャンプ：7月1日～8月31日（家族は8月中旬）
じゃぶじゃぶ池（水遊び広場）		水深の浅い池
みどりの泉		宇都母知神社が所有している池
多目的運動場（クローバー広場）		軟式野球やサッカーに利用可能
多目的運動場（さわやか広場）		ゲートボールや各種レクリエーションに利用可能
駐車場		100台



2-3.市街化調整区域について

少年の森は市街化を抑制する区域（市街化調整区域）に立地しており、原則として土地の区画形質の変更（開発行為）が制限されていますが、施設の開設当時、一部区域の開発の許可を受け、管理棟などが整備されました。開発の許可を受けた区域【図2】以外は、現在でも開発が制限されているほか、許可を受けた区域であっても許可された内容以外の開発は、やはり原則として制限されます。

【図2】 少年の森敷地内の開発許可の区域（破線）



（藤沢市開発登録簿より）

【表3】 開発許可を受けた範囲の概要

項目	内容
開発区域に含まれる地域の名称	藤沢市打戻字太平2010番他29筆
開発区域の総面積	18,253.5㎡（上図の破線の範囲内）
備考	第2種特定工作物

（藤沢市開発登録簿<抜粋>）

2-4.施設の利用状況

(1) 施設の運営と利用形態

少年の森には、令和4年度実績で年間約67,000人が訪れていますが、日常的な一般利用としては、小中学生がアスレチックやじゃぶじゃぶ池で遊んだり、学校の遠足、野外活動などでの利用が多く見られます。

現在は指定管理者制度により運営をしており、「公益財団法人藤沢市みらい創造財団」（以下「(公財) 藤沢市みらい創造財団」という。）指定管理者としています。

指定管理者が主催するイベントには、田んぼの中で泥遊びをする「どろんこまつり」や子どもの日に開催する「みらい子どもフェスタ」などがあり、2,000~3,000人ほどの来場がある人気のイベントとなっています。その他にも指定管理者により「稲作体験」や「キャンプファイヤー」「プレーパーク」など、小学生を中心に自然を体験できるイベントが開催されているほか、指定管理者以外にも地域団体等の活動の場となっており、「フリースクール」や「青空保育」としても利用されています。

また、夏季長期休暇の時期には、かわせみハウスやテントキャンプの宿泊利用も多く見られます。



どろんこまつりの様子



みらい子どもフェスタの様子



稲作体験の様子



キャンプファイヤーの様子



プレーパーク特別編の様子

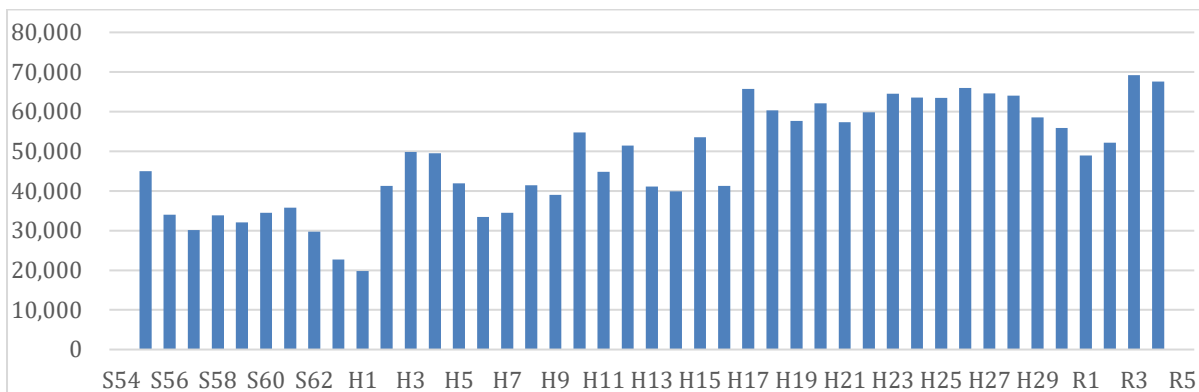


プレーパークの様子

(2) 施設利用者数の推移

施設利用者数は【グラフ1】のとおり、平成17年度までは増減を繰り返していましたが、それ以降は60,000人前後でおおむね横ばいのなか、平成26年度からは5年間連続で利用者が減少しました。令和2年度以降増加に転じていますが、これは新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う一時的な傾向であると市では分析しています。

【グラフ1】 施設利用者数の推移



2-5.施設に係わる財政等の課題

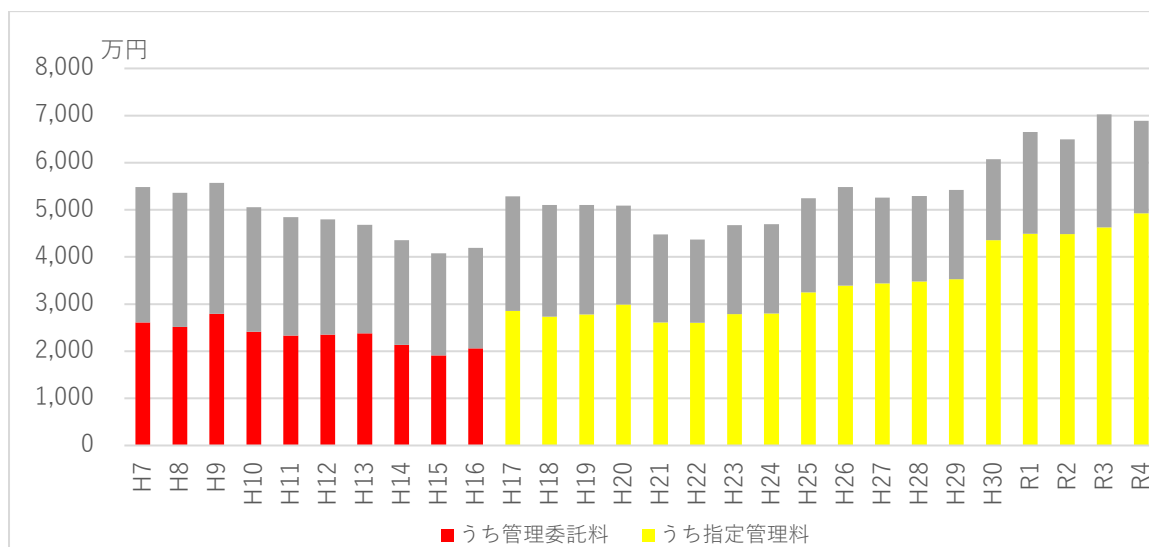
(1) 維持管理コストの推移と内訳

平成7年度に藤沢市青少年協会（現公益財団法人藤沢市みらい創造財団）が設立され、開設以来の市直営から、少年の森の管理委託が導入されて以降、土地購入など臨時的な支出を除いた経常的な維持管理経費は【グラフ2】のとおりです。平成17年度の指定管理者制度導入までは経費が削減されていますが、指定管理料が一時的に経費を押し上げ、その後平成

22年度までは減少傾向の後、増加傾向に転じています。指定管理料は平成21年度以降一貫して増加しています。

令和4年度の少年の森の維持管理経費の総額はおよそ9,100万円で、内訳は指定管理料や土地の賃借料など経常的な経費が約6,600万円、病虫害による木の被害や台風等災害の対策など臨時的に必要なとなった経費が約2,500万円となっています。

【グラフ2】 経常的な維持管理経費の推移

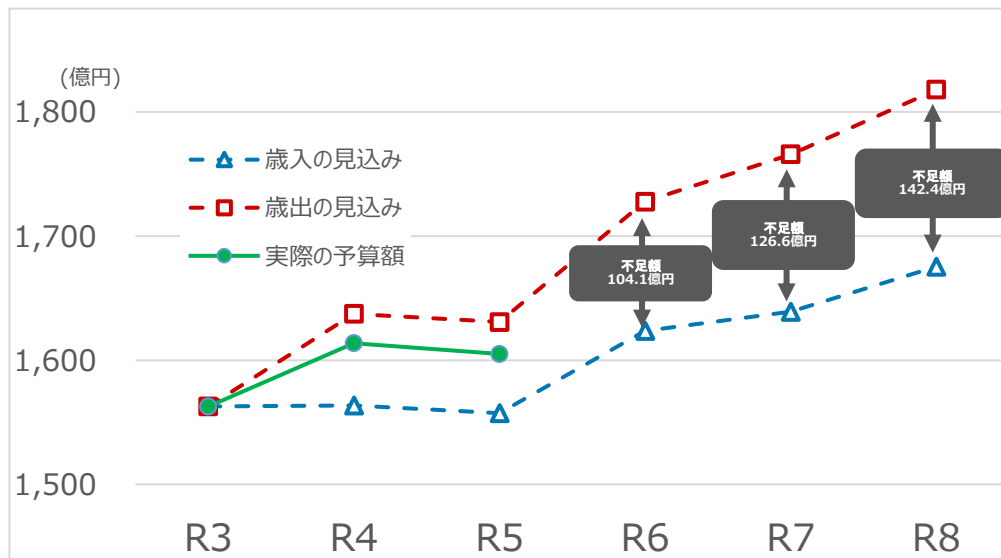


(2) 藤沢市の財政状況

藤沢市の一般会計予算はここ数年1,500億から1,600億円程度で推移しています。この予算を賄うのに必要な主たる財源である市税は、令和5年度の見込みで838億余円と過去最大になっていますが、令和3年度は800億円を下回るなどその時々々の経済情勢等に左右されます。

【グラフ3】は令和3年8月に藤沢市が発表した令和4年度から令和8年度までの「中期財政見通し」の内容です。実線は実際の予算額の動きを表していますが、令和6年度から令和8年度まで、毎年100億円以上の財源が不足する見込みを示しています。

【グラフ3】 藤沢市の財政見通しと実績



3 再整備に向けて

3-1. 公民連携による公共施設の再整備

公民連携とは、自治体と民間事業者等が連携して公共サービスの提供を行う仕組みであり、社会経済情勢の変化や住民の暮らし方の変化によるニーズの多様化に対応するために自治体が民間事業者の知識や技術、資源を活用し、公共サービスを継続的に実施していくための手法です。

少子高齢化社会の進展や施設・インフラの老朽化、社会保障関連経費の増大に対応するための財源の確保など、全国的に自治体を取り巻く環境は厳しさを増しており、これまでの取組だけではその運営が困難な状況となってきています。

藤沢市においても、行政の資源やノウハウ等が限られる中で、公共サービスに対する市民ニーズに的確かつ持続的に応えていくためには、ノウハウを積み重ねた民間企業等の力を最大限に活用していくことが重要です。そこで、既存の取組にとらわれず、民間事業者のビジネス活動を市民のためにどう役立て、地域課題の解決にどのようにつなげてサービスの質を高めるか、という大きな視点に立って、公民連携の取組を推進していきます。

参考事例1：おひさまテラス（千葉県旭市）

商業施設「イオンタウン旭」のなかに2022年4月にオープンした千葉県旭市が設置する多世代交流施設です。旭市から指定管理者として指定されたイオンタウン株式会社が運営主体となり、総合企画業務は、「コミュニティ」を軸として数々の場のプロデュースを手がけてきた「株式会社リビタ」が担っています。

カフェレストラン、ライブラリー、クラフトルーム、コワーキングスペース、キッズスペースなど様々なコンテンツがあり、専門性をもった民間企業が携わって、それぞれのノウハウを生かした運営となっています。また、カフェレストラン運営やイベント企画では地元企業や団体と連携していることから、施設には多様な人々が集まり、地域活性化の拠点になっています。



(出典：おひさまテラス ホームページ <https://ohisama-terrace.jp/>)

参考事例2：ABURAYAMA FUKUOKA（福岡市）

人・都市・自然の共生を目指す複合体験型アウトドア施設として、「JR九州リージョナルデザイン株式会社」が指定管理者として運営しています。周辺の事業者と連動した体験やコンテンツの開発など、地域事業者を巻き込んだ事業を展開しています。



(出典：ABURAYAMA FUKUOKA ホームページ
<https://www.aburayama-fukuoka.com/>)

3-2.検討・推進していく上で大切な視点

公共施設である少年の森の再整備の検討に当たっては、公民連携の「行政」と「民間」の目線だけで検討・推進するのではなく、市民の目線を交えた以下の3点を大切な視点として検討を進めていきます。

- ①**施設周辺エリアの恵まれた自然環境やコンテンツを最大限に活かし、当施設をハブとした藤沢市北部地域の暮らしと魅力向上に寄与する施設を目指すこと**
- ②**ビジネス最優先の民間不動産活用とは異なり、公共不動産活用ならではの市民生活の質を高める公益性を重んじる視点を欠かさないこと**
- ③**公民連携に留まらず、市民・民間事業者(整備・運営者)・行政の三方よしについて考えること**

3-3.子どもの学びの場としての森林・自然環境

令和元年度に国立青少年教育振興機構が行った「青少年の体験活動等に関する意識調査」によれば、自然体験や生活体験、文化芸術体験が豊富な子ども、お手伝いを多く行っている子ども、特に自然体験が多い子どもほど、自己肯定感が高く、自立的行動習慣が身についている傾向があると報告されています。

また、平成28年に(株)NTTデータ研究所が実施した「都市地域に暮らす子育て家族の生活環境・移住意向調査」によれば、約85%の保護者が、自然体験が子どもに良い影響を及ぼすことについて意義を認識している一方で、約70%の保護者が、子どもは「自然体験ができていない」と回答しており、自然体験の必要性を感じているものの、実際には自然体験の機会を設けられていないとした課題があります。

都市部で育つ子どもにとってありのままの自然環境に触れられる機会は希少であり、少年の森の環境は貴重な財産だといえます。

4 現況の把握と整理

4-1. アンケートおよびヒアリング調査

現状の少年の森の利用状況や課題について、庁内・市民・御所見地区の小中学生を対象としたアンケート及び地元団体・利用者団体・運営団体等との意見交換を行いました。

(1) 庁内アンケート実施概要（詳細なデータについては資料編に掲載）

- ・実施期間：2023/6/2(金)~2023/6/16(金)
- ・対象：藤沢市役所職員
- ・回答方法：googleフォームによる質問回答
- ・回答者数：95人

(2) 市民アンケート実施概要（詳細なデータについては資料編に掲載）

- ・実施期間：2023/7/21(金)~2024/1/19(金)
- ・対象：一般市民
- ・回答方法：googleフォームによる質問回答
- ・回答者数：627人

(3) 庁内・市民アンケートのまとめ

■ 集計結果のまとめ

- ・自家用車での来場が8割以上。
- ・当施設を目的として来場された方が98%と非常に高い。また、他の施設に立ち寄らない方も86%と周辺施設との関連性はない。
- ・来場された方の目的の多くは「遊び」「アスレチック」。
- ・満足度としての評価は高い一方で、「まあまあ良い。年に数回は来たい」という回答が53%で、半数以上は年に数回程度の利用を想定している。
- ・藤沢市のオススメの場所は海側(南側)に集中しており、北部のコンテンツが乏しい。

■ 主な個別回答意見

○少年の森の魅力と感じられるところ

- ・森のまま、自然環境がそのまま残されている。
- ・子どもが思う存分遊べる環境は非常に貴重。

- ・スタッフさんたちが優しくおもしろい。
- ・森の中やじゃぶじゃぶ池に、多様な生物がいる。
- ・親子でキャンプ体験ができてよかった。

○課題として感じているところ

- ・アスレチックが古く、子どもを遊ばせるにも不安。
- ・公共交通でアクセスするには不便、バスの本数が少ない。
- ・池が濁っている。
- ・トイレやシャワーの清潔感がない。
- ・駐車場が少ない。
- ・小さい子（幼児）が遊べるようなものはあまりなかった。
- ・宿泊棟の老朽化が目立つ。
- ・施設の利用予約がアナログである。

（４）小中学生アンケートの実施概要及びまとめ（詳細なデータについては資料編に掲載）

- ・実施期間：2023/12/5(火)~2023/12/20（水）
- ・対象：市内御所見地区の小中学校、全学年
- ・回答方法：「御所見地区まちづくり協議会」が学校を通じてアンケート用紙を配布・回収
- ・回答者数：948人

■回答結果のまとめ

- ・一番の思い出として、遊びや体験を通じた活動、草花で四季を感じる感覚、生命などを身近に感じ取ることができる場所としての意見が多く上がった。
- ・学校の授業、行事以外で行ったことがあると回答したのは約83%。
- ・嫌いなところとして、虫がいる、トイレが古い・汚い、雨が降ると遊べない、休むところがない、いずみの水が汚い、という意見が多く上がった。
- ・どんな場所があったらいい、という質問に対しては、新しいアスレチック（難易度が高いもの、長い滑り台）、バスケットコート、サッカーゴール、室内で休んだり遊べたりするところ、売店・屋台・カフェ、という意見が多く上がった。

（５）地元団体・利用者団体との意見交換

「御所見地区郷土づくり推進会議」など複数の地元団体や少年の森を日常的に利用している団体等と複数回にわたって意見交換を行っています。主な意見等は次のとおりです。

○自然環境等について

- ・今ある貴重な自然環境を残してもらいたい。藤沢市にこれだけ緑豊かな場所があるのは貴重である。
- ・ナラ枯れなどの被害も大きい。丁寧に森の手入れをしてもらいたい。
- ・植生に詳しい専門家のような人材を入れて進めて欲しい。

○施設整備等について

- ・トイレの清潔感がなく利用しづらい。個数や設置場所も検討いただきたい。
- ・駐車場が少ない。公共交通機関ではバスの本数が少なく、アクセス面での課題が大きい。交通に関しても検討いただきたい。
- ・少年の森へアクセスするまでの視認性が悪い。サイン計画等も考慮いただきたい。
- ・池が濁っている状況は非常に残念。清潔さを保ってもらいたい。

○施設の在り方について

- ・青少年育成施設として果たしてきた役割は重要。その視点は失わないで欲しい。
- ・現在も多くの利用団体が頻繁に利用している。その活動場所をなくさないでもらいたい。

○運営等について

- ・今の小中学生も遠足で行ってもらいたい。学校にも呼びかけて連携しながら利用を促進してもらいたい。
- ・親子キャンプなどは人気で、申込多数で抽選となり参加できないことも生じている。できるだけ多くの方に利用してもらえよう運営を期待する。
- ・グラウンドの利用申し込みが煩雑。オンライン等でも対応してもらいたい。
- ・「遠藤笹窪谷公園」と連携したウォーキングコースも充実してもらいたい。

○その他

- ・運営委員会や利用団体の話を丁寧に聞く機会をしっかりと設けてもらいたい。
- ・整備期間中にも現在の活動ができるような場所を残しながら整備を進めてもらいたい。

(6) 運営事業者：(公財) 藤沢市みらい創造財団へのヒアリング

■現状の課題

○ハード面

- ・木製のため森に馴染むが、100%安全ではない

- ・雨が降ると利用者はほとんど来ないので、雨が降っても子どもの居場所（屋根のついた広いところや多目的室）があるといい。
- ・散策路や水はけの悪い場所が複数あり、雨が降ると数日～数週間程度の影響がある。
- ・台風が酷い時は木が十数本倒れてしまい、休園しないとならない。
- ・倉庫、バックヤードが圧倒的に足りていない。
- ・トイレの清潔感についてはよく指摘を受ける。数も増やしたい。
- ・炊事場の利用は団体向けの設えになっているので、家族単位での受け入れは難しい。
- ・施設のマップや誘導サインなどがわかりづらいとの声が多い。
- ・イベント時や長期休暇の繁忙期などは駐車台数が足りていない。臨時駐車場としてグラウンドを使うこともある。
- ・グラウンドは他の整備された施設を第一候補とし、少年の森のグラウンドは第二候補として練習に使われることが多い。

○ソフト面

- ・施設利用の申し込みを簡易的にして欲しいとの声がある。
- ・テント泊は条例上、団体だけになっている。家族や個人を受け入れられない。
- ・親子キャンプなど、定員枠を大幅に超える申し込みを受けている一方で、設備や人員の都合によりお断りしているイベントもある。

(7) 再整備における検討事項の整理

アンケートやヒアリングを通していただいたご意見から、再整備に当たり検討すべき事項について、以下の4点に分けて整理しました。

① 北部エリア活性化の拠点

- ・北部地域全体の活性化に寄与する施設に
- ・市北部地域に多く存在する農家や周辺の商業施設等との連携
- ・令和4年度にオープンした「遠藤笹窪谷公園」に近接する立地を生かす

② 清潔で安心して利用できるためのハード整備

- ・トイレ・炊事場などの清潔さ、アスレチックの安全性の確保
- ・季節や天候を問わずに過ごせる場所、利用率を高める工夫
- ・倉庫やバックヤードの不足
- ・駐車場台数の確保

③ 日常的な利用、多様な利用ニーズに応える

- ・幅広い年齢や多様な層（グループや個人）が、様々な時間帯で利用できること
- ・団体以外にも多様な利用・宿泊ニーズに対応
- ・売店や休憩所、飲食店、木陰や日除けのあるベンチ等、居心地の整備
- ・認知度の向上と利用しやすさ（ネット予約や混雑状況、情報発信）

④ 持続的で質の高いプログラムを実施する運営の仕組みづくり

- ・豊かな森林環境を最大限に生かし、育て、守り続けられるような運営
- ・市民、ボランティア、周辺企業、生産者などと連携するための運営体制
- ・継続的、寛容的、多様な関わり方が可能なサポーター等の仕組みづくり
- ・自然環境等の専門性や育成の視点を持つ講師やスタッフ

4-2. 過去の調査事項（サウンディング調査結果）

藤沢市では、2021年（令和3年）11月から2022年（令和4年）2月（コロナ禍）にかけて、「少年の森」を中心とした藤沢市北部地域全体の活性化に寄与する取組や事業の可能性を検討することを目的としたサウンディング型市場調査を実施し、民間事業者の柔軟な発想や視点に基づく事業アイデアや取組の提案、創意工夫の可能性などについて幅広く意見を収集しています。なお、参加者の状況及び民間事業者との対話結果は以下のとおりです。

（1）参加事業者数の概要

説明会参加者：14事業者

見学会参加者：12事業者

個別対話参加者：3事業者（※個別対話参加者の主な業種等:リース業、施設運営業）

（2）サウンディング結果：少年の森の活性化に向けた活用のアイデアについて

- ・キャンプやアスレチック等のアウトドア系のレジャーが楽しめる事業を実施したい。
- ・日帰りや泊りがけで気軽に楽しむことができるキャンプを中心とした事業を行いたい。
- ・施設を利用する対象者については、青少年だけを対象にするのではなく、成人を含めた一般の人を対象とした施設にしたい。
- ・自然豊かで地形が起伏に富んでいることから、自然を楽しめるスポーツが行える事業を実施したい。

- ・北部エリアの活性化については、周辺の民間施設(農園、乗馬クラブなど)と連携した事業を行いたい。
- ・地場産の食品などを使い、周辺地域との連携などを行いたい。

(3) サウンディング調査のまとめ

民間事業者からの活用アイデアは、キャンプやアスレチック、スポーツなどのアウトドアレジャー施設としての意見が多くありました。また、周辺地域や施設等との連携を行いたいとの意見がありました。

4-3.アウトドア市場概況

ここでは、前述のサウンディング調査の結果を踏まえ、近年のアウトドア市場概況について整理します。（詳細なデータについては資料編に掲載）

(1) アウトドアレジャーの近年の傾向のまとめ

- ・キャンプが家族やソロ、休日や平日とさまざまなスタイルで楽しむ身近なレジャーに進化しています。
- ・キャンプに参加する人の中で、「平日にキャンプをする」人が半数を超え、平日の利用が多いソロキャンパーも増加しています。
- ・コロナ禍が明けて移動制限などの規制が解かれ、海外旅行や一般的な観光旅行に行く人が増えたため、キャンプ参加人口は減少しています。
- ・キャンプ、グランピング施設の急激な増加（事業構築補助金）による飽和と淘汰が進んでいます。
- ・圧倒的な立地環境や充実した施設サービス、時間消費型や体験との組み合わせ、コストバランスのよい施設に人気が集中しています。
- ・アウトドア施設はON/OFFシーズンが明確になること、台風等の天候、最近の猛暑等による影響も大きいと見られます。

(2) 考察と今後の対策

コロナ禍を経て、キャンプやグランピングなどのアウトドアレジャーが日常に根付きましたが、この数年で競争も激化しています。宿泊施設では圧倒的な自然環境などの非日常性、体験セット型や回遊性のあるプランなど、時間消費型のコンテンツに人気の高い傾向があります。そのため今後は、より比較・消費されない優位性と独自性が求められます。

サウンディング結果では、キャンプを軸にしたアウトドアレジャー活用に興味・関心をもつ事業者が多くみられましたが、急激な時代変化に負けない対応力も必要です。

また、アウトドア施設は、稼働率が約70~80%にのぼる休日と比較し、平日は約5%にとどまり、休日と平日の繁閑の差が激しい事業であるため、学校教育、企業研修による利用といった平日利用を増やす取組など、運営の安定化につながるサービスやターゲット設定の検討も必須となります。

4-4.ポジショニングの検討

アンケートやヒアリング調査から、少年の森の魅力（現時点で顕在化した魅力）と現状の課題と検討事項や改善すべき事項などが見えてきました。また公共施設であることから、再整備の上で 欠かせない大切な視点を 3つ整理しました。

これらは、再整備で果たす目的のために重要な現状把握であり、位置付けや取り組む優先順位に必要な要素ですが、まだ活かしかれていないポテンシャルを探ることで、独自性や優位性が生まれてきます。

これまでの調査・検討結果を踏まえて、用途基点で在り方を考えるのではなく、顕在化している今の魅力とまだ活かしかれていない魅力に、ニーズを掛け合わせ、公共施設ならではの強みを生かし、施設単体ではなくエリア全体（北部地域の活性化）で魅力度アップを狙うことで、少年の森の新たなポジショニングを考えていきます。

(1) 周辺の類似施設の特性とポジショニングマップ

まず、周辺の類似施設をピックアップし、ポジショニングマップで整理します。

○神奈川県立茅ヶ崎里山公園（指定管理）

圧倒的な広さとコンテンツ、整備された環境が魅力。屋内宿泊施設はないもののキャンプ場やBBQ場、多目的広場や遊具等、施設内容やターゲットも似ている。

○神奈川県立相模三川公園（指定管理）

河川公園で、公園内を流れる鳩川沿いの桜並木と遊歩道、子供に人気の大型遊具、噴水、河川敷の空間を有効活用した野球場やパークゴルフ場、芝生広場が特徴。河畔林等の河川環境が学べる自然観察園もオープン。

○綾瀬市立綾南公園（市直営）

面積は小さいものの、滝で遊べる大きなじゃぶじゃぶ池に 6本のスライダーがついた大型遊具などが特徴的。

○大和ゆとりの森（指定管理）

スポーツとレクリエーションの公園で芝生が大部分を占めている。中央部分の修景池ゾーンは大雨時の遊水地としても機能。

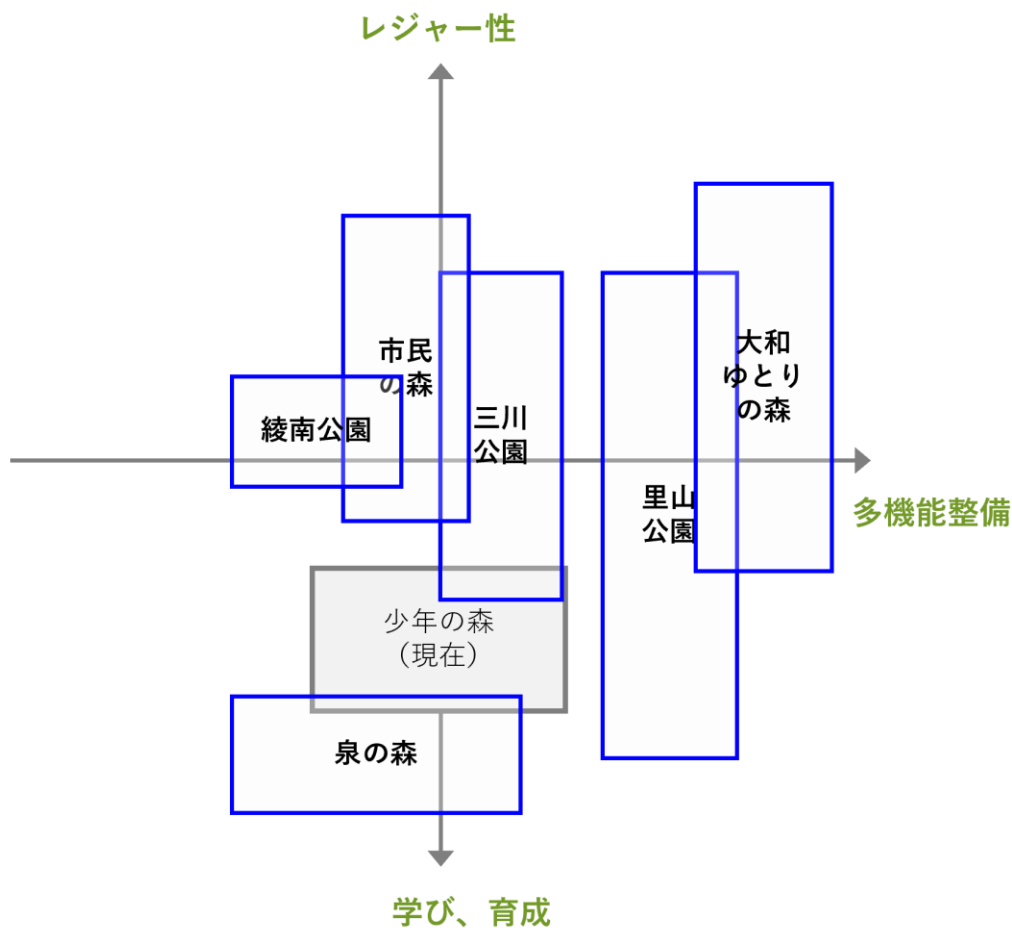
○泉の森（管理委託）

大和市の自然の核として位置づけられている公園。かながわトラスト緑地に指定。豊かな自然の保全が図られており、生き物の自然観察に最適な場所。

○茅ヶ崎市立市民の森（市直営）

最大の特徴は、巨大なツリーハウスやダイナミックなアスレチック。子どもたちの遊びに特化した施設。

■少年の森と周辺施設のポジショニングマップ



※横軸に多機能性（用途・ハード整備）、縦軸にレジャー性（学び・育成観点）

(2) 少年の森の独自性・優位性について

(活かし続ける魅力 + これから活かしていく魅力) × ニーズ



独自性・優位性

少年の森の独自性と優位性を検討するために、「活かし続ける魅力」と「これから活かしていく魅力」を整理します。

活かし続ける魅力
○自然環境 アンケートやヒアリング等の結果からも、「少年の森」の魅力に自然環境を挙げる人が大多数。森や水源地を今後も活かすことが必須。
○余白 「少年の森」の魅力は、人工的でないこと、子どもたちがのびのびと走り回ったり遊んだりできることを挙げる人が大多数。
○人 運営スタッフやボランティアスタッフの親切さが魅力という声が上がっていた。人の魅力は差別化の面でも非常に大切。

これから活かしていく魅力
○0から1 農業、畜産業、林業（造園業）など1次産業があること。教育や文化の面でも、作る・育てる現場に触れる機会があることは、現代において大きな強み。
○地形 南北に長い藤沢市。森と海の両面があることは稀有。北部に特化したものであれば南部エリアからも集客ができ、市全体で考えると、南北両面の体験コンテンツやプログラムがあれば、都心等からの集客も可能。
○多様な人材 北部エリアには生産者や工場が多く、南部エリアには移住者も多い。多様な人材により、ハードに頼らないアイデアで多彩なコンテンツサービスが検討可能。

(3) ニーズへの対応方針

現状から検討・改善すべき事項を抽出し、ニーズへの対応方針を整理します。

現状
<ul style="list-style-type: none">・ 青少年施設：子どもたちにとって心地よい場所・ 青少年向けのプログラム中心：一定の世代を超えると関わりしろが少なくなってしまう・ 施設内に留まった活動が多い：一定の認知に留まる・ 目的地化：周辺の回遊性や循環が生まれていない



これから
<ul style="list-style-type: none">・ 多様な人々に利用されている：それぞれに居心地の良い場所がある・ 多様なプレイヤー（団体）が活動している：多様なコンテンツと参加機会が複数ある・ 北部地域の事業者・生産者との接点や連携がある：北部地域の回遊性・認知が高まる・ 訪問、利用機会が増えている：どんな使い方や利用ができるかがわかりやすく、タイムリーに情報発信されている

上記の検討を踏まえて、ニーズへの対応方針を整理します。

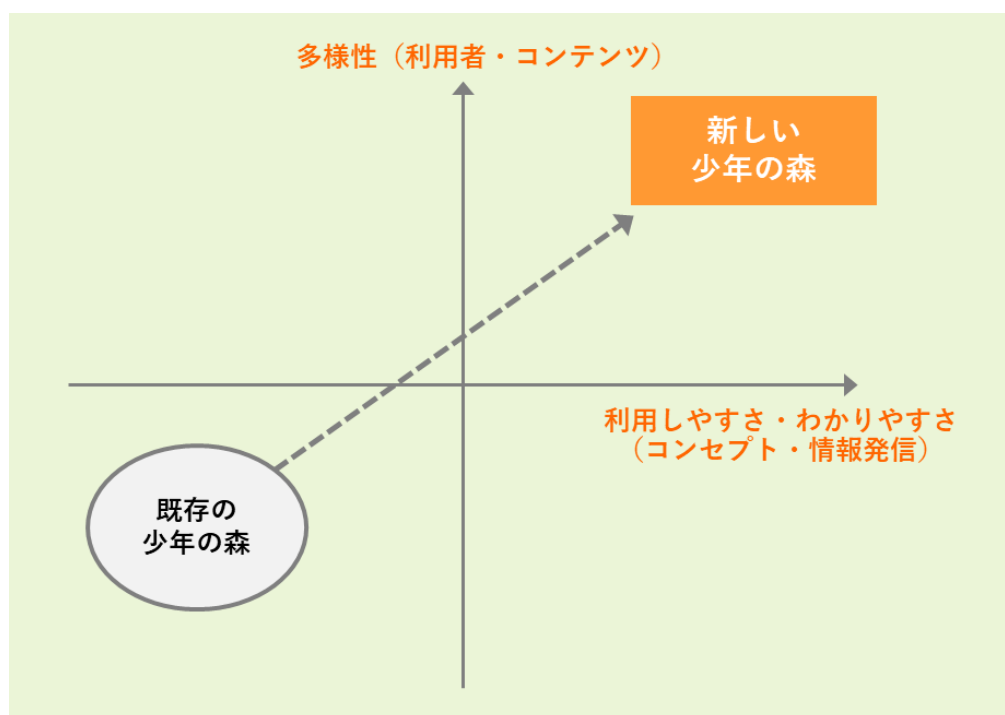
- ・ 稼働率の向上や居心地のために、コンテンツや混雑状況などの情報がわかりやすく整理・発信されていること。
- ・ 多彩な事業者やプレイヤーが関わり、多様な利用者の目的地や居場所となるよう、平日・休日・日中・夜などでターゲット別にコンテンツや運営の仕組みがあること。
- ・ 施設単体で完結するのではなく、当施設から周辺、周辺から当施設への回遊導線を生み出すコンテンツ開発や情報発信を目指すこと。

(4) 強化すべきポイント

23頁で示したポジショニングマップは、横軸に多機能性（用途・ハード整備）、縦軸をレジャー性（学び・育成観点）で示したのですが、用途やハード整備で差別化を目指すと、必要な整備投資額が大きくなることに加え、最新の設備や機能で整備された施設は竣工時点の価値がいちばん高く、経年とともに価値が下がり続けるため差別化は困難になっていきます。同様に、レジャー性での差別化を機能に頼りすぎると、社会環境やトレンドの変化サイクルが短スパンの現代において、費用対効果を得られる期間が短命に終わる可能性があります。

そこで、ニーズへの対応方針から導き出される「強化すべきポイント」を次のように整理しました。

用途起点やハード整備等で施設の価値付けや差別化をするのではなく、**中長期視点で持続可能な施設を目指して余白を残し、多様な利用者に対応するプログラム、コンテンツ、利用しやすい仕組みなど、ソフト面での工夫を強化**していきます。



5 再整備の基本方針

これまでの検討・調査結果から、少年の森の再整備に当たっては、既存の環境等を守りながらも、現在は利用率が低い時間帯や曜日に新たな層の取り込みを検討していくことや、地域の事業者やプレイヤー等との連携により、今より多くの方々に認知され、利用され、愛される施設になる可能性が見えてきました。

5-1.再整備で目指す施設の方向性

『今の魅力（自然環境、子どもたちが思い切り遊べる場所）を大切に、周辺住民やファミリー等も気軽に立ち寄れる、利用できる施設に』

- 清潔で利用しやすい機能やサービスへ
- 安心して遊べる・学べる、日常的に行きたくなる場所へ
- 知り合いや仲間が増える場所へ（多様な利用者が小さな接点を持てる機会の創出：居場所）
- 100年後もつづく「森」のために、環境を守り育てる仕組みやプログラムの導入
- 市民のみんなが知っている、北部地域を代表する、愛され誇れる場所へ
- 市内事業者・生産者、地域プレイヤー等と連携し、北部地域のハブとなって地域経済と魅力を高めていく

5-2.再整備で目指す施設の在り方

森と水のキャンパス —体験・創造型ネイチャーフィールド—

子どもから大人まで、これまでの利用者も新たな利用者も、地域住民や生産者、事業者・プレイヤー、行政も、それぞれが役割や立場を超えて、誰もが教える・教わるのが可能な関係を育むとともに、地域資源が循環するハブとなり、森や水、ここにしかない貴重な自然環境を守り育てながら、発見や気づきを得て学び合える、体験型の場所を目指していきます。

5-3.基本方針（案）の提示と共有（「パブリックイベント」の開催）

再整備で目指す施設の方向性と在り方を市の考えとして市民の方々に提示し、共有するとともに、行政以外の意見や考え方も示してもらい、これからの検討を多様な主体が連携して進めることを明らかにする機会として、「少年の森」の未来について語るパブリックイベント『わくわくする「少年の森」について一緒に考えよう！』を開催しました。イベントでは、基本方針（案）の紹介、縁を介して人と人をつなぐ活動を展開されているNPO birthの佐藤留美さんの講演、藤沢市で活躍する方々を交えて少年の森の新たなポテンシャルを探るトークセッションを行いました。

- ・ 日時：2024年1月13日（土）13:00～15:40
- ・ 場所：藤沢リラホール（藤沢市鶴沼石上1 - 1 - 15 5階）
- ・ 参加者：79人
- ・ 基調講演：NPO birth 事務局長 佐藤 留美さん
- ・ 登壇者：（株）フジマニパブリッシング 代表取締役社長 三浦 悠介さん
農家レストランいぶぎ、いぶぎ農園 元店長 里 崇さん
（公財）藤沢市みらい創造財団 課長補佐 山辺 信一郎さん

パブリックイベントでは、下記の3つのツールにより参加者のアイデア、ご意見・ご質問をいただきました。（詳細なデータについては資料編に掲載）

- ① 妄想アイデアシート：少年の森の未来を妄想するためのアイデアシート。9つのテーマを設けてそれぞれのテーマのボードを用意し、自由にアイデアを書き込んでいただきました。
- ② slido（スライドウー）：パブリックイベントや基本方針（案）、今後の進め方についてのご提案やご意見、賛同コメントを投稿いただきました。（「slido」はイベント等においてスマホなどを用いて、参加者からリアルタイムに質問や意見を投稿・収集できるWebサービス）
- ③ アンケート：パブリックイベントや基本方針（案）等へのご意見をいただきました。

青少年施設であることの意義や価値を大切にしたいというご意見や、素晴らしい自然環境がある森だからこそ、より多くの人に愛され利用される場所になって欲しいというご意見、また青少年の育成には多様な方々との関わりが大切であること等、様々な視点からアイデアやご意見をいただきました。

いただいたアイデアやご意見は、今後の事業推進および基本構想時の参考材料として検討を進めていきます。

(参考) パブリックイベント開催動画

- ・ 開会、基本方針（案）の説明：<https://www.youtube.com/watch?v=CdWjAlMuWCQ>
- ・ 基調講演：<https://www.youtube.com/watch?v=2AlZdS8qafU&t=1s>
- ・ トークセッション、閉会：https://www.youtube.com/watch?v=5z_EnSnBB6w

6 今後の進め方

再整備を検討・進めるにあたっては、下記の点に留意して進めます。

- ・ 地域資源の発掘や調査、情報収集を行い、積極的な地域連携が図れるよう検討を進める。
- ・ 民間事業者のノウハウを発揮できるような運営制度検討や民間事業者との連携事業についての調査・研究を進めた上で、民間事業者の公募に向け、条件の検討や整理を進める。
- ・ パブリックイベントで得られたアイデアやご意見等を参考にしながら、引き続きワークショップ等を通じて市民・地域事業者、プレイヤーの声を取り入れながら、検討を進める。



7 資料編

7-1.アンケートおよびヒアリング調査

現状の少年の森の利用状況や課題について、庁内・市民・御所見地区の小中学生を対象としたアンケート及び地元団体・利用者団体・運営団体等との意見交換を行いました。

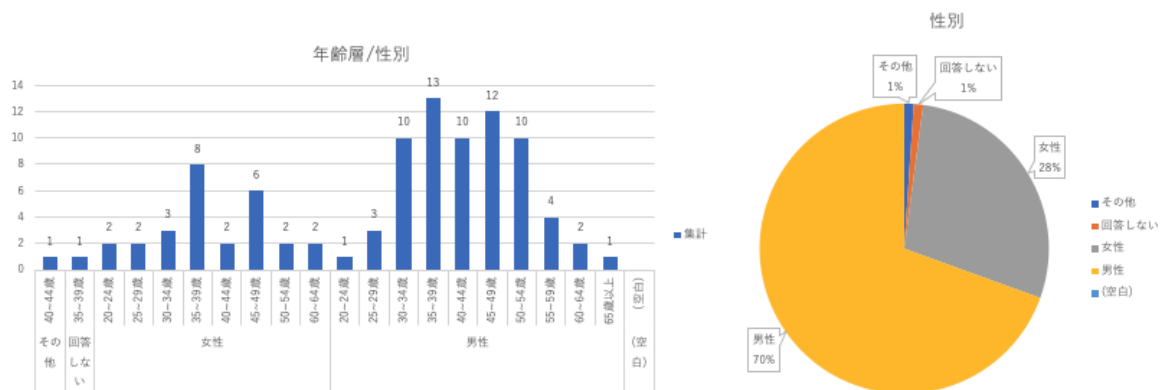
(1) 庁内アンケート

■実施概要

- ・実施期間：2023/6/2(金)~2023/6/16(金)
- ・対象：藤沢市役所職員
- ・回答方法：googleフォームによる質問回答
- ・回答者数：95人

■集計結果

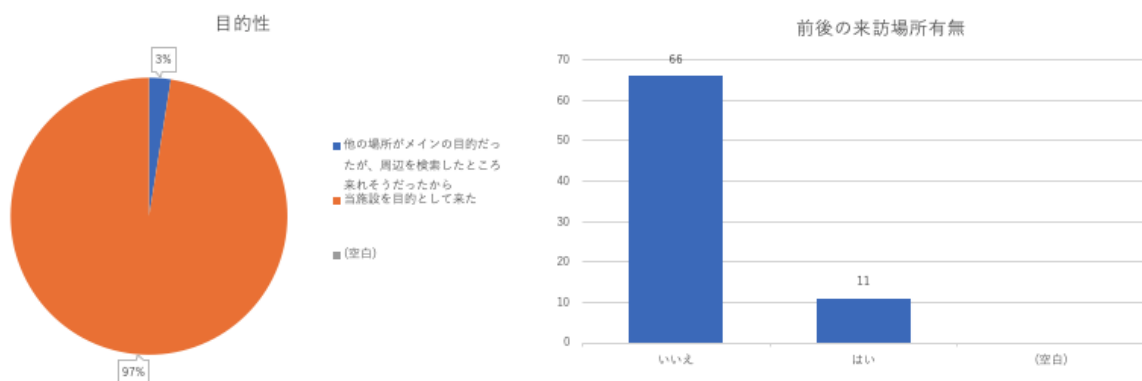
●回答者属性



●目的性と、前後の来訪場所の有無

-当施設に来場された理由は、次のうちどちらでしたか？

-「当施設を目的として来た」と答えた方は、当施設にお越しになった前後で他の場所にも行きましたか？



-当施設にお越しになった前後で他の場所にも行きましたか？どこに行く予定、もしくは行ったかを差し支えない範囲で教えてください。

- ・ 周辺の公共施設
- ・ 食事(外食)
- ・ 井出農園
- ・ 御所見地区の梨屋
- ・ 買い出し

●藤沢市でオススメの場所

-藤沢市内で、当施設以外のオススメの場所や気になる場所があれば教えてください。

- ・ 江の島
- ・ テラスモール湘南
- ・ 湘南T-SITE
- ・ 引地川親水公園

以上複数票多数

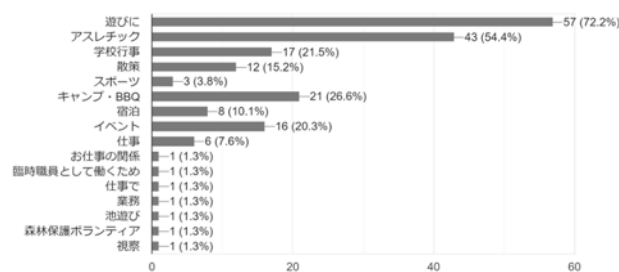
- ・ 秋葉台公園
- ・ 湘南台公園など

●来訪目的とその満足度

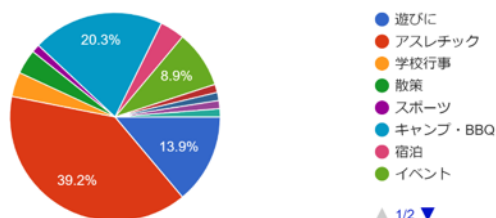
-当施設には、何をしに来ましたか？

-チェックしたものの中で、最も印象深い、または、再度体験してみたいと思ったものは何ですか？最も当てはまるものを選択してください。

Q.16：当施設には、何をしに来ましたか？
79件の回答

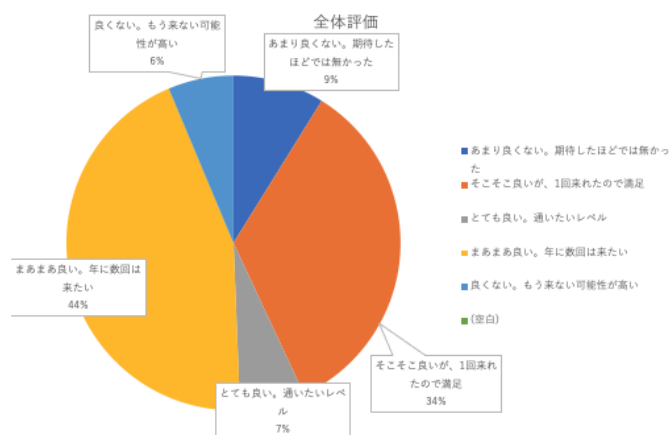


Q.17：Q.16でチェックしたものの中で、最も印象深い、または、また体験してみたいと思ったものは何ですか？最も当てはまるものを選択してください



●満足度の全体評価

-当施設について、全体的にはどのような印象を持たれましたか？



① 「とても良い。通いたいレベル」と回答した方の具体的理由

- ・自然やアスレチックが充実していそうだった。
- ・子どもが楽しむだけでなく青少年の成長を促し、その成長を感じられる企画がある。
- ・子どもたちが楽しんでいたから。
- ・無料だから

② 「まあまあ良い。年に数回は来たい」と回答した方の具体的理由

- ・小さいうちは何度でも来たくなる。
- ・小学校高学年くらいになると、アスレックスに飽きてくるかも。
- ・子ども達が身体を使って遊べるから。
- ・遊びパターンが少ないため、通うほどでもないと思う。
- ・近場で森の中のアスレチックができる場所がないため。
- ・田植え体験したり池で遊んだりバーベキューできたりと自然と触れ合え一日遊べるため
- ・施設の老朽化対策が望まれる。

③ 「そこそこ良いが、1回来れたので満足」と回答した方の具体的理由

- ・内容や立地は良いが施設が老朽化しているため。
- ・様々な世代向けのイベントがそこそこの頻度で開催されると行きたくなる。
- ・子供が大きくなったため。
- ・アスレチックの劣化・危険で遊びに適さない。
- ・1回で満足する規模感だったため。
- ・大人が楽しめるコンテンツがない。

④ 「あまり良くない。期待したほどでは無かった」と回答した方の具体的理由

- ・施設の老朽化や指導者の対応

- ・アスレチックがやはり古いのと、あまりにも汚い。
- ・大人が行っても楽しめない。

⑤「良くない。もう来ない可能性が高い」と回答した方の具体的理由

- ・過去の印象
- ・全体的に暗く、ジメジメした印象を持ってしまったから。

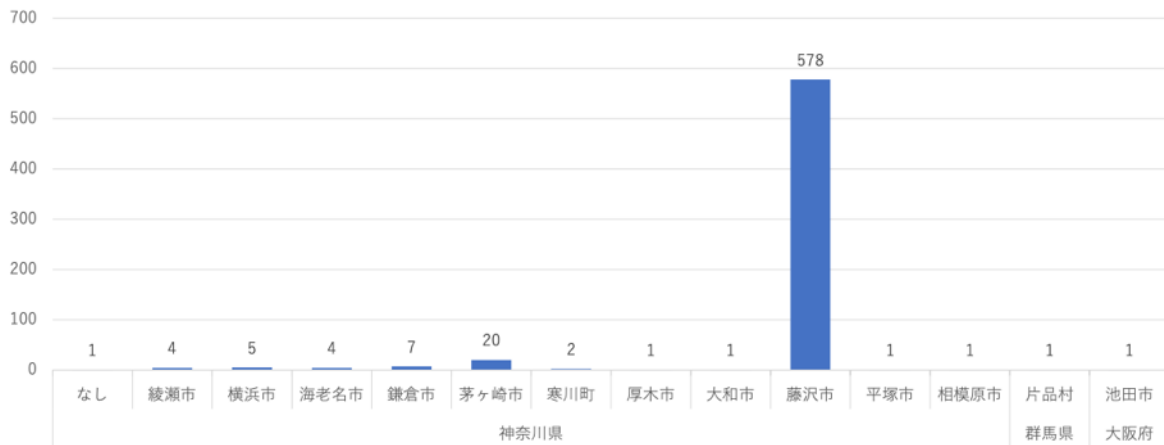
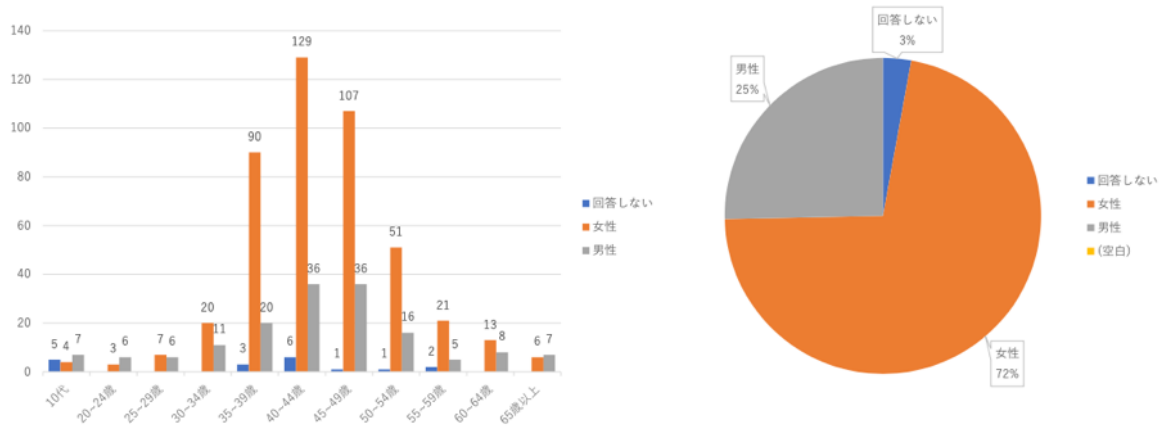
(2) 市民アンケート

■実施概要

- ・実施期間：2023/7/21(金)~2024/1/19 (金)
- ・回答方法：googleフォームによる質問回答
- ・回答者数：627人

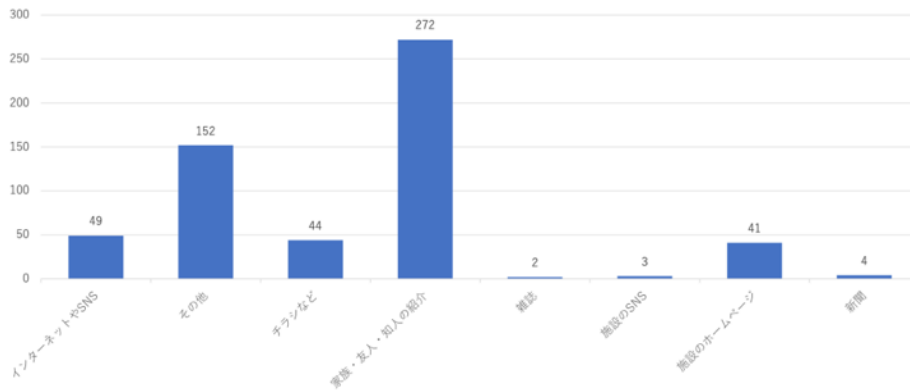
■集計結果

●属性



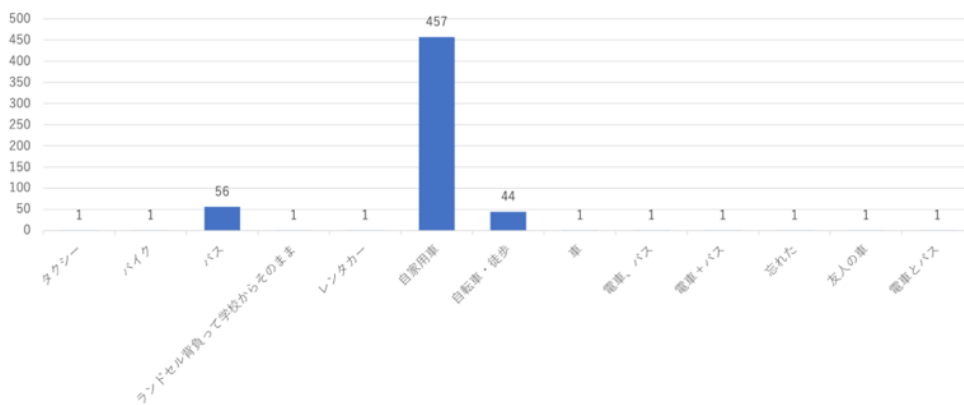
●情報経路

-藤沢市少年の森をどうやって知りましたか？



●交通手段

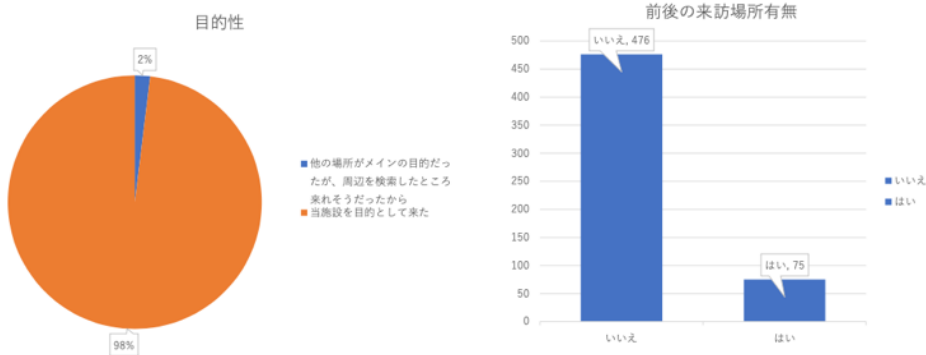
-施設へお越しになった際の交通手段を教えてください。



●目的性と、前後の来訪場所の有無

-当施設に来場された理由は、次のうちどちらでしたか？

-「当施設を目的として来た」と答えた方は、当施設にお越しになった前後で他の場所にも行きましたか？



-当施設にお越しになった前後で他の場所にも行きましたか？どこに行く予定、もしくは行ったかを差し支えない範囲で教えてください。

- ・近辺のサイクリング
- ・ブルーベリー農園

- ・ありあけマルシェ
- ・農家レストランいぶき
- ・遠藤笹窪谷公園
- ・ショッピングセンター
- ・レストラン
- ・買い出しなど

●藤沢市でオススメの場所

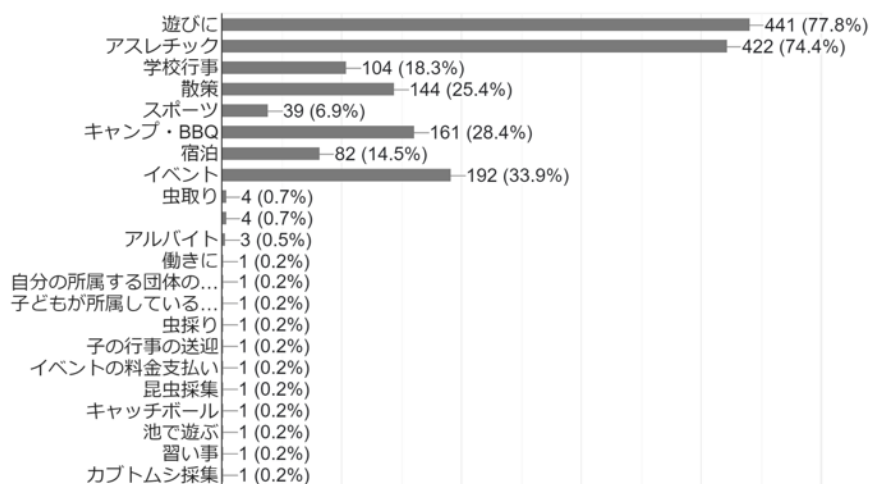
-藤沢市内で、当施設以外のオススメの場所や気になる場所があれば教えてください。

- ・江の島
- ・辻堂海浜公園
- ・新江ノ島水族館
- ・辻堂海浜公園
- ・テラスモール湘南
- ・T-SITE
- ・引地川親水公園

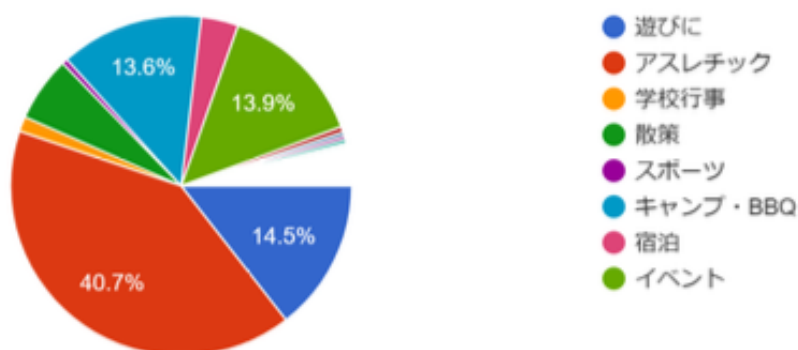
以上複数票多数

●来訪目的とその満足度

-当施設には、何をしに来ましたか？

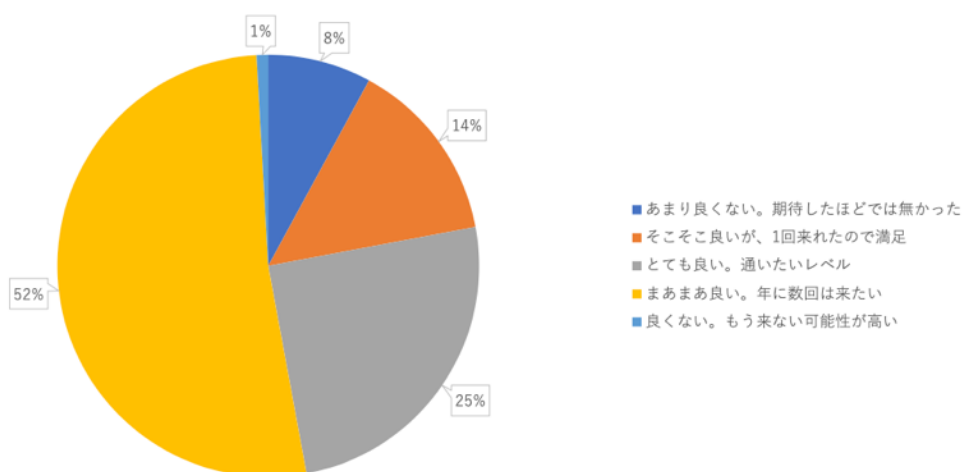


-チェックしたものの中で、最も印象深い、または、再度体験してみたいと思ったものは何ですか？
最も当てはまるものを選択してください。



●満足度の全体評価

-当施設について、全体的にはどのような印象を持たれましたか？



①「とても良い。通いたいレベル」と回答した方の具体的理由

- ・自然豊かで魅力的
- ・子育てに最高
- ・これからの時代子どもを大切にす施設は必要不可欠です。
- ・他には残っていない、自然の森で遊べる場所だから。生き物も多く、泥遊びができたり、子どもも大人もこんなに豊かな自然の中で遊べるところが他にないから。
- ・豊かな自然の中にレベルの高いアスレチックがあり、かつ無料!!

②「まあまあ良い。年に数回は来たい」と回答した方の具体的理由

- ・自然がたくさんで子供達がたくさん遊べる場所なので
- ・アスレチックは楽しめるが、それだけで通う程ではない為

- ・色々なアクティビティがあり、1日遊べるため
- ・BBQ場にも行ってみたいが、トイレが汚い
- ・いつでも行けて自然豊か。子供を安心して遊ばせられる。
- ・自然が豊かなところ

③「そこそこ良いが、1回来れたので満足」と回答した方の具体的理由

- ・アスレチック遊具が古くて危ないかなと感じた。
- ・設備、環境がそこまで良くない。古い
- ・アスレチックがちょっと老朽化していた。
- ・子供の頃は楽しかったが、今は老朽化が気になり自分の子供は連れて行っていない。
- ・もう少し整備してほしい
- ・なんとなく鬱蒼とした雰囲気

④「あまり良くない。期待したほどでは無かった」と回答した方の具体的理由

- ・アスレチックの老朽化、池のにごりが気になる...
- ・施設が古く子供に対する安全性が低く感じた。
- ・暗い印象が強く、子どもながらに怖いと感じた。

⑤「良くない。もう来ない可能性が高い」と回答した方の具体的理由

- ・アスレチックしようとしたが、腐っていて汚く、安全のため遊ぶのをやめた。他の設備も老朽化している様子だった。
- ・老朽化が進んでいるので、危険な気がする。綺麗になったら再度訪れたい。

(3) 小中学生アンケート

- ・実施期間：2023/12/5(火)~2023/12/20 (水)
- ・対象：市内御所見地区の小中学校、全学年
- ・回答方法：「御所見地区まちづくり協議会」が学校を通じてアンケート用紙を配布・回収
- ・回答者数：948人

■回答結果

1. 学年

(人)

	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年
中里小	236	30	44	31	42	41	48
御所見小	347	30	42	73	59	65	78
御所見中	365	122	128	115			

※合計は回答に協力した生徒数

下記は、重複している（多い）回答を抜粋

2. 一番の思い出

- ・池やアスレチックの遊具などで、友達や家族と遊んだ。
- ・生き物を初めて見た。触った（カブトムシ、セミ、蛍、オタマジャクシ、ヘビなど）
- ・宿泊（キャンプ、火起こし、カレー作り）
- ・みんなでお弁当を食べた。
- ・焼き芋

3. 一番好きな場所

- ・アスレチック（特にターザンロープ）
- ・大きいブランコ
- ・じゃぶじゃぶ池、木、どんぐり（森全体）
- ・やさしいスタッフの人たち
- ・広場

4. どんなことをして遊びますか。

- ・アスレチック
- ・ブランコ
- ・たき火
- ・じゃぶじゃぶ池での水遊び
- ・自然観察（虫取り、どんぐり集め）
- ・運動（野球、テニス、バトミントン、ドッチボール、サッカー）

5. やってみたいこと

- ・アスレチック
- ・キャンプ（バーベキュー）
- ・スポーツ（バスケット、バレーボール、野球、バトミントン、サッカー）
- ・凧あげ、ドローンの練習、釣り、花火、サバイバルゲーム
- ・山の中でのかくれんぼ、鬼ごっこ

6. 学校の授業、行事以外で行ったことがあるか。

- ・ある 約83%（789人／948人）

7. 嫌いなところは

- ・虫がいる（蚊、ハチ、クモの巣、ナメクジ）
- ・泥、水溜まり（雨が降ると遊べない＝屋内がない）

- ・トイレ（汚い、狭い、暗い、匂う、虫が死んでる）
- ・アスレチック（古い、汚い、少ない、簡単すぎる）
- ・休むところがない
- ・水が汚い（みどりのいずみ）

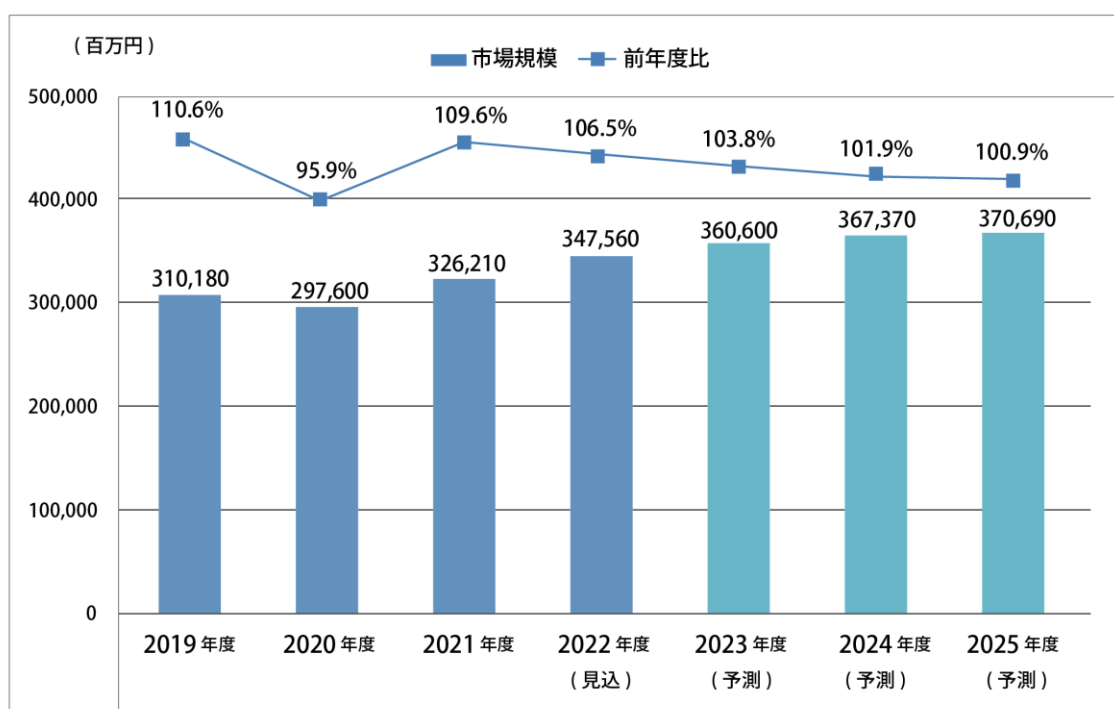
8. どんな場所があったらいい

- ・ちっちゃいコンビニ（売店、屋台、カフェ）
- ・子どもの遊べる場所と遊具
- ・新しいアスレチック（難易度が高いもの、長いすべり台）
- ・バスケットコート（ネット付き）、サッカーゴール
- ・釣り堀
- ・屋室内で休めたり遊べたりするところ
- ・図書室

7-2.アウトドア市場概況

(1) 国内アウトドア市場概況

矢野経済研究所のレポートより、2021年度の国内アウトドア用品・施設・レンタル市場規模は、前年度比109.6%の3,262億1,000万円と推計されています。キャンプのエントリー層によるテントをはじめとしたキャンプ必需用品関連の購入が進んだことで、アウトドア用品（アパレル・用具）市場が好調に推移しました。さらにキャンプがアクティビティ・レジャーのひとつとして定着しつつあるため、年に数回程度アウトドア施設を訪れるキャンパー（コア層）が増加しており、アウトドア施設市場や用品レンタル市場などのサービス分野が好調となったことも市場全体を押し上げる要因となったようです。アウトドア用品・施設・レンタル市場には他業種からの新規参入が相次いでおり、今後も成長を続けていくと考えられます。



矢野経済研究所調べ

注1: アウトドア用品・施設・レンタル市場は、アウトドア用品（アパレル・用具）市場とアウトドア施設市場、アウトドア用品レンタル市場の合算値。アパレル市場および用具市場はメーカー出荷全額ベースで、施設市場は宿泊費を含む施設利用料ベース（施設でのレンタル料や物販売上高は含まない）で、レンタル市場はアウトドアレンタル事業者および施設運営事業者のレンタルサービス利用料ベースで算出した。

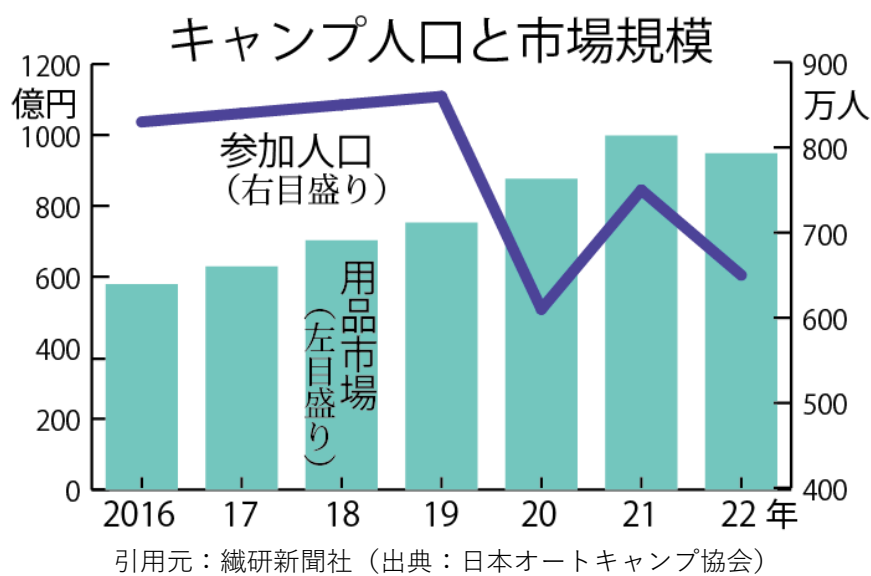
注2: 2022年度は見込値、2023年度以降は予測値

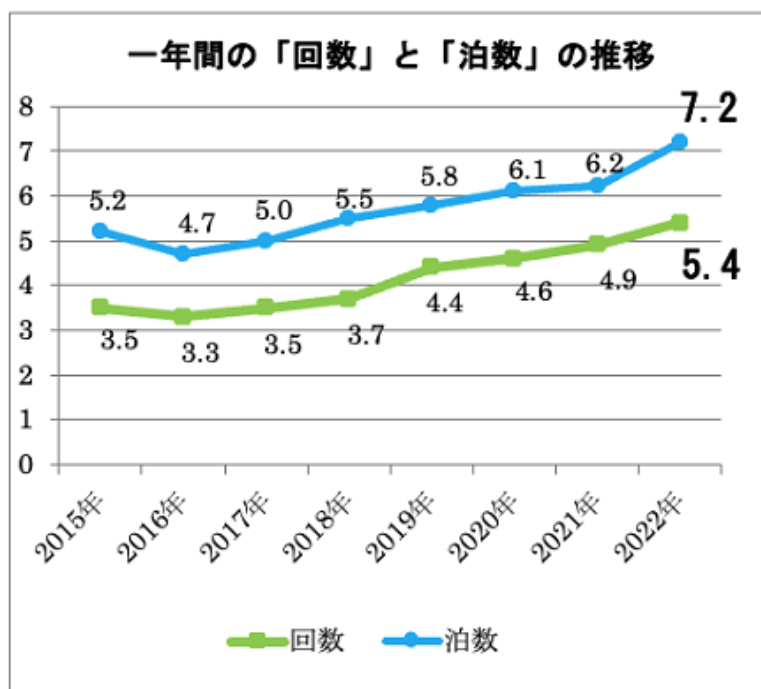
出典：国内のアウトドア用品・施設・レンタル市場調査（株式会社矢野経済研究所）

(2) 近年のキャンプ市場概況

日本オートキャンプ協会「オートキャンプ白書2023」によると、2022年のオートキャンプ参加人口は、前年比13.3%減の650万人と推計されています。コロナ禍が明けて移動制限などの規制が解かれ、一般的な観光旅行に行く人が増えたことなどによる相対的な減少と分析されています。人口減に伴い、キャンプ用品市場も948億円となり、前年の998億円から5%縮小したが、コロナ禍前は上回っています。

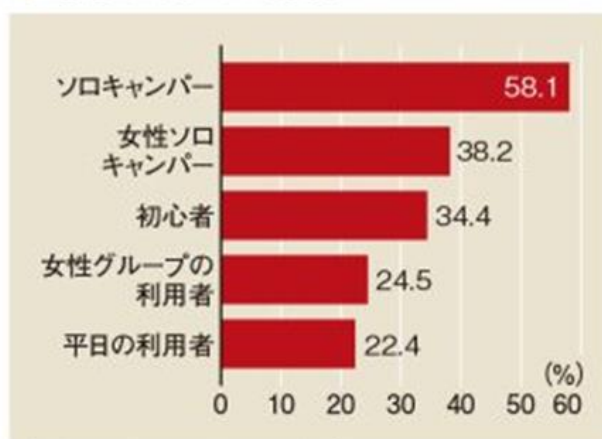
一方で、1年間の平均キャンプ泊数が7.2泊、回数が5.4回とともに過去最高となり、「平日にキャンプをする」人が50.1%と半数を超え、平日の利用が多いソロキャンパーは同3.5ポイント増の16.6%となっています。キャンプが家族やソロ、休日や平日とさまざまなスタイルで楽しむ身近なレジャーに進化していることが表れています。





引用元：オートキャンプ白書2023（日本オートキャンプ協会）

●増加が目立つ客層



引用元：日本オートキャンプ協会（※キャンプ場から見た動向。上位のみを表示）

また、オートキャンプ白書2022、一般社団法人全国グランピング協会のレポートによると、施設数や稼働率は以下となっています。

- ・オートキャンプ場は1373ヶ所。2021年のオートキャンプ場の稼働率は20.4%
※営業日数ベースの数字。365日での平均稼働率は14.8%。
- ・グランピング場は2020年時点で350施設
- ・国内最大級のキャンプ場予約サイト「なっぷ」に掲載されている国内キャンプ場は4,923件（2023年5月25日時点）

7-3.パブリックイベント開催結果

2024年1月13日（土）にパブリックイベントを開催し、参加者のみなさんから以下のようなアイデアやご意見等をいただきました。

※以下の内容は、無記名でのご意見をそのまま記載していますが、読みやすさのために一部表現を修正している箇所があります。

(1) 妄想アイデアシート

Q1. 「少年の森」でいちばん好きな場所、魅力だと感じているものはなんですか？

- ・ジャングルのような森は光がとても美しい。森林浴ができそう。
- ・水源地。森の奥で喧騒を忘れられる。
- ・関わっている方々やスタッフさん（複数意見）、森を守ってくれるジニーさん
- ・ハイジみたいな木のブランコ（複数意見）
- ・たいこやぐら。木の周りを子どもたちが生き生きと走っているのでそのまま残してほしい
- ・木製のアスレチック（複数意見）、ケガすることもあるけど基本自己責任
- ・じゃぶじゃぶ池（複数意見）
- ・子どもたちが思いっきり遊べること（アスレチックや水遊びなど）
- ・野球ができる。虫採りし放題。
- ・薪ストーブ
- ・自然のままの森（複数意見）
- ・何も無い広場（複数意見）
- ・卓球台、冬に池が凍って氷で遊べる！森に囲まれて遊べる！
- ・藤沢市内の貴重な自然体験の場
- ・無料で遊べる
- ・森との共生。人工的な再整備ではなく、森が生きる形を残してほしい。
- ・リラックスできる散策路
- ・都市公園とは異なる子どもたちの自己責任と生きる力を育む場所
- ・（大人に見張られずに）子どもたちが自由に遊べる。大人も子供も森に守られている安心感

Q2. 「少年の森」での最高の思い出を教えてください

- ・はじめて少年の森で遊んだ日のこと。
- ・アスレチック遊具ができるようになったこと。子どもの成長や笑顔。

- ・小さい頃に行っていた少年の森で、自分の子供が一生懸命アスレチックをやったこと。
- ・大勢で走り回ったこと。大勢で鬼ごっこをして大笑いしたこと。
- ・じゃぶじゃぶ池にできた氷の上に乗ったこと。
- ・じゃぶじゃぶ池で頭から水を被っている子供たちと友達家族で大笑いして楽しんだこと。
- ・田んぼで泥だらけになって遊んだこと。
- ・サマースクールでスタッフさんや同じ班の子と夜ご飯にカレーを作ったこと。
- ・親子キャンプで、友達と泊まったこと。
- ・仲良し親子や仲間たちとキャンプ。キャンプファイヤーも冬の星空も最高だった。
- ・友人家族とピクニックをしてアスレチックやじゃぶじゃぶ池で楽しんだ。
- ・うどん作り、みらいこどもフェスタ
- ・焼き芋、焚火（複数意見）
- ・キャンプやキャンプファイヤー（複数意見）
- ・野営場で大人同士の語り
- ・手作りランタンで夜の森を探検
- ・菜の花キャンプ、夏休み子どもキャンプ
- ・木陰でアイスを食べたこと。
- ・池で水遊び、ザリガニ釣り、カエルと触れ合う。
- ・セミの羽化が見れた。はじめてギンヤンマがとれたこと！
- ・節分の時にはスタッフさんが鬼役に。いつも暖かく一生懸命に子どもをみてくれて最高。
- ・少年の森でバイトができたこと。
- ・東日本大震災後に海で遊べない福島の子たちを湘南に招待し、少年の森で宿泊してもらい、500人規模の事業を行ったことがあるので、大きなイベントを催せる場は残してほしい。その当時、小学生だった子が、大学生になって思い出の一つとして話してくれたことが嬉しかった。

Q3. 「少年の森」で、どんな時間を過ごせたら楽しい・幸せですか？

- ・薪を集めてから焚火
- ・焚き火をしながらマシュマロを焼いてスモアを食べる。
- ・森の映画祭。夏の夜に外で音楽をかけながらしっぽり過ごしたい。
- ・子供と一緒に遊ぶ。虫捕り。
- ・一泊二日のプレーパークスペシャル
- ・子どもを遊ばせながら花をながめたい。ゆっくり過ごしたい。
- ・ピクニックの最中に子どもは参加できるWSがあるといい。

- ・ 森の奥で静かにゆっくりとコーヒーを飲む。
- ・ 大人だけどボーっとしたい。
- ・ 広い原っぱでのんびりおしゃべり。ただ寝っ転がって、家族で話す。
- ・ 日常の忙しさからの開放。自然に囲まれてなにもしない。ありのままの自分でいられる時間を過ごせることが幸せ。ゆっくり自然散策。
- ・ 何もない森の魅力を大切に、森をシンプルに維持してほしい。
- ・ 「余白があること」土日は混み合うので居場所が分散されるといい。水遊び場。森に触れ合うスポットなど。
- ・ 市民参加の第一歩、少年の森大好きクラブにみんな参加してみる！
- ・ 屋内の自由スペースで、本を読んだり仕事したりできる場所（カフェ？）。
- ・ 雨が降っても寒くても暑くても、どんな世代の人も集える屋内スペースがあってもいい。
- ・ ポケモンカードができる場所があるといいな。

Q4. 「少年の森」でやってみたいことはありますか？

- ・ 雨の日イベント。水たまりで遊んだり、焚き火をして暖をとったり。雨の日ならではのイベント。
- ・ 世界一大きなシャボン玉をつくろうなどのイベント企画
- ・ 暑い日に湧水エリアで、何か涼しくなることができるといいな。
- ・ 少年の森の中や周辺でいらなくなった木材を活用したDIY！工房ができたらいいな。
- ・ 子どもと自然のブランコを作りたい。
- ・ 自然をつかった障害物競争
- ・ 木登り（ダメな木とOKな木をレンジャーさんに教えてもらう）
- ・ キャンプしながらみんなで本を読んだり、音楽を聞く。
- ・ 少年の森でデジタルデトックスキャンプ！時計も携帯も手放して太陽の光と共に心のおもむくままに原始的な時の流れを体験するDAY。
- ・ 大人の仮面をはずして誰もが子供でいていい日。We Are All Kids DAY!自分が心の底からやってみたいことを実現するようなイベント
- ・ 大人だけの運動会（ワイルドver）
- ・ 少年の森でのどじまん大会、語らせたら藤沢ラブスピーチ大会、ダンスの発表会、市民のがんばりを発表できる場所
- ・ 藤沢ゆかりのアーティストでライブ。野外演奏会。野外ミュージカル。夜（夕方）に手作りランタンを飛ばしたい。親子、友達、恋人、夫婦等、いろんな方が参加できるイベントがやりたい。

- ・コスプレの集い、水てっぽう大会、サバゲー、ゾンビの日、おばけやしき。
 - ・探検、秘密基地
 - ・サウナ
 - ・水で、森で、広場で、のんびり遊べる少年の森
 - ・木の伐採、丸太早切対決
 - ・薪割りと焚き火でアウトドア調理。防災を意識したアウトドアクッキング。
 - ・子どもたちと火おこし体験。初心者向けキャンプ体験。キャンプ道具のお試し体験。
 - ・野菜や果物をつくりたい！たべたい！たべてもらいたい！
 - ・障害を持った子供も楽しめる触れられる花壇を作ってみる（レイズドベッド）。触って楽しむ。
 - ・大人一人でぼーっとしたい。
 - ・ホタルの復活
 - ・虫がたくさんいる温室
 - ・青空哲学対話
 - ・初日の出をみんなで見る。
 - ・カフェ、図書館（図書コーナー）、自習室、仕事部屋（緑を眺めながら）、シャトルバス（車がなくてもいける）、プレイパーク
 - ・地域の人々でつながる。
- 5月：みんな子ども祭り（大人も子どももみんな地球の子みどりの子）
- 11月：ふじさわの恵みを味わう収穫感謝祭
- 3月：みんな集まれ森の音楽会
- ・子供たちを豊かに育てたいと思う大人が増えること。親子で本当に楽しめていれば子どもが大きくなったって楽しい。
 - ・少年の森に行くと、いつもニコニコしながら何かあったらすぐに手を差し伸べてくれる、子どもたちが自分たちでできるよう見守る、カッコイイ背中を見せてくれるジニーさんのお話をききたい！
 - ・川崎の夢パークのような子供を真ん中に地域に大人も子どもも多世代が集って関わりあう、コミュニティが育まれるような場作り。

Q5. 「少年の森」で、どんなものを、誰と、食べたい・飲みたいですか？

- ・自分で育てたり採ったりした野菜でBBQがしたい。
- ・地元の農産物でBBQ
- ・家族でBBQ。安心安全な飲料、無農薬野菜など。

- ・地産の食材を使った食べ物。森の中でだからこそ味わえるもの。例) どんぐり、野草、火起こしして作ったものなど。普通のカフェ的なものより、ピクニックごはんや防災食とか食べてみたい。
- ・少年の森で採れるフルーツなどでダッチオープンケーキをつくり、みんなでお茶会をする。コーヒーを淹れる。
- ・親しい人と藤沢ゆかりの食べ物を食べたい。
- ・解体から知れるジビエ肉。
- ・コーヒー（藤沢で焙煎されたもの）やジュース（藤沢産）など、ここでしか飲めないものを家族と。
- ・コーヒーとビール。具沢山のサンドイッチ。
- ・コーヒーと手作りのお菓子を家族や友達と。
- ・子供でも気軽に入れる、自由に過ごせるカフェスペース。
- ・農家さんの野菜や果物のスムージーやジェラートを食べたい。
- ・井出農園さんのトマトジュース。
- ・（おしゃれなカフェ）でママ友とゆっくりランチしてお茶（スムージー）。体にいいものだと嬉しい。砂糖不使用、グルテンフリーなど。
- ・自分で育てた野菜や果物を調理して商品化してみたい（個人ではできないので）。
- ・レストランやBBQではなく、テイクアウトで売り切れないものがあればよい（母目線）。おにぎり屋さん、自動販売機、近くにコンビニ。
- ・せっかく自然の森があるのにカフェやレストランは疑問。何を目的とした場所なのか。お弁当を持参する、そういう場所もいいのでは。
- ・青少年育成を市と市民ではかるという意味でも、お店とか利益とかは、どうなのか？
- ・レストランは必要ない。少年の森の外に作ればいい。ランチしながら大人が見守るのではなく、子供と一緒に楽しんでほしい。
- ・みやじ豚BBQとビール
- ・お酒が飲みたい（御所見地区で飲めるお店が少ない）
- ・ビールは好きだけど、少年の森には必要なのかな？
- ・少年の森のアルコール制限は、子どもたちにとっても大切なことのひとつだと思う。
- ・一人で、仲間と、お茶したい。
- ・みんながつかえるキッチン（里山公園にもあるが活用されてない）
- ・自分達でつくったもの。仲間とおにぎりを焼いて食べたい。

Q6. この場所で、どんな遊びや体験、学びのプログラムができれば楽しそうですか？

- ・泊まり込みで真夜中や早朝の探検やってみよう！（かわせみハウスを少人数で利用できたら）
- ・パークレンジャー、キッズレンジャーの育成プログラム！！不登校の子たちが平日の昼間、外で遊び学べるプログラム。
- ・星空観察ロマンチック。夜の生態観察。自分たちでカブトムシをふやそう。
- ・森の案内人。子どもたちと一緒に森の維持管理とか、伐採を学びたい！
- ・森の番人。丸太を切る。
- ・森の学校。森のいろいろなことを知れる学校みたいなこと。
- ・森の学びやってみよう！
- ・「少年の森」レンジャーを育成する。特に地元小学校で育て、地域の人材育成につながる。
- ・週末子どもだけで参加できる自然体験プログラム（自然のことを学べたり工作ができる）
- ・大人も利用できるピザ窯、陶芸窯。個人では難しいものを設置してみるとか。教室→サークル、個人利用できるなど。
- ・キャンプファイヤーしながら焚き火、焼き芋しながらパパ友の会。
- ・パパと秘密基地を作って遊ぶ週末お泊まりイベント（ママはお家でゆっくり時間）。
- ・自分たちで秘密基地をつくって遊びたい。簡単な作り方を知りたい。
- ・宝探しみたいなのがあったら楽しいかと。
- ・早朝の探検。
- ・バーチャル森の散歩。
- ・川魚やメダカがみられる小川。
- ・虫や爬虫類などとの触れ合い。餌やりができると子供は喜ぶ。
- ・森の中で虫や動植物の出会い。
- ・動植物園みたいなエリアがほしい。
- ・畜産体験、ふれあい、乗馬。
- ・ハンモックで、ゆったりとコーヒーを飲む。
- ・森で寝たい。ハンモックで寝たい。
- ・高校生、大学生でも遊びやすいフィールドがあるといいな。バスケット、スケート、フットサルなど。
- ・御所見地区をナショナルパークとして再生する農地の利用、人の雇用。
- ・季節の野菜（北部産）を使ったレシピを週替わりで掲載（ママさんは公園遊びしながら日常に役立つ情報ほしい。時間・機会の有効活用）

- ・自然を学ぶ、少年の森の野草つみ&調理法、お手当法など・森の声を聴くツアー・森の中でポーッとするツアー・ソーラークッカー・防災キャンプ。
- ・楽しくリスク回避する知恵をみんなで共有する防災キャンプ。
- ・あくまでも子供のためだけと大人を排除するのではなく、子供のことを一緒に考える大人が増える施設になってほしい。
- ・広い世代と子どもたちが関わることは必要ですが、大人の「意識」はしっかり持てる。大人が娯楽的に楽しむ施設になるよう規定はしっかり作ってほしい。アルコール持ち込み、大音量禁止など。
- ・北部地域の活性化、農家以外の住民のメリットは？ヨソからの観光客が増えてしまって地元の子どもたちが使いにくくなるのでは？
- ・家族連れだけでなく、青少年の団体も使える広場も今まで通り確保してほしい。

Q7. 自分が「少年の森」で出来そうなこと、関われることがあれば教えてください！

- ・マルシェで野菜販売、きのこ栽培体験、ツリーハウスのカフェ、ハーブ園、炭焼き体験など、運営可能。
- ・野草をとって一緒に料理、自然あそびガイド、つみとった野草で毎日の保湿クリームづくり。
- ・焚き火をつかった料理のWS。地域の野菜を使った料理。
- ・甘酒カフェ。農家レストランいぶきさんのような健康意識高い食べ物を提供。
- ・少年の森プロダクトをつくる。少年の森の樹液サイダーとか、クラフトジンとか。素人のWSで作る。
- ・子どもたちと遊びたい、レンジャーをやりたい。
- ・アスレチックの良さ（子ども：発達、大人：運動、ダイエット）を伝える。理学療法士。
- ・イベントの企画や広報のお手伝いをしてみたい。ウクレレを教えているので、少年の森でウクレレピクニック、森の音楽会をしたい。
- ・御所見の植物園めぐり。植物（木・花・野草）を育てよう。
- ・森の声を聞ける人を育てることが未来につながると思う。夫はきこり。
- ・駄菓子屋！リアルお買い物ごっこ！（駄菓子だから子供も買いやすい）
- ・紙芝居。
- ・ウォーキングイベント。
- ・ピクニックシート広げて絵本屋さんやりたい。
- ・ハッシュタグを使って宣伝。ティックトックで宣伝。
- ・フリースクールでの学びの支援。

- ・ イベントボランティア。

Q8. お気に入りの観光施設や自然体験の場所があれば、その施設名と理由を教えてください

い

- ・ わいわい市。地元の野菜がいっぱい！
- ・ 海。
- ・ 辻堂海浜公園。最近団体利用が制限されて困っている。
- ・ 野尻湖。SUPできてキャンプできてサウナもあって何気にナウマン象博物館が楽しくて何度も行っている。
- ・ 稚児ヶ淵のタイドプール・八ヶ岳野外体験教室（複数回答）。この場所での体験は少年の森でもできるはず！
- ・ 岐阜県立森林文化アカデミー。主役はだれか？をかんがえさせてくれる
- ・ 京都府立植物園。特別なものがあるというより広くて木も花もたくさんあっているだけで気分がいい。
- ・ 湘南平～高麗山 登山道（ハイキング道）

Q9. 藤沢市の魅力（人・もの・お店・企業等）や共有したい情報など、なんでも教えてください

ださい

- ・ スナックみらぼ。ユニークな大人たちがたくさんいる。
- ・ ecostoreのパパラギさん。環境を考えた商品が多くあります。
- ・ ハックツ。panasonicのECサイト。
- ・ 弁慶果樹園。昭和にタイムスリップしたような牧歌的で整いすぎていない緑と植物がいる場所。
- ・ 日大の先生や学生。
- ・ 7325コーヒー。子どもにもやさしい、めちゃくちゃおいしい！ほっとするのにオシャレな空間。
- ・ inacujira。オーガニックな食事やお菓子
- ・ 古本の野菜やお菓子、キッチンカー。
- ・ 少年の森（複数回答）。
- ・ 「生産者」「地域経済」というワードとそのハブとして少年の森というロケーションはどうか？少年の森周辺の主要道路沿いは開発可能な土地が多数ある。他方、少年の森へは狭い道路を進入しなければならない。商業を検討するなら別の敷地を考えるべきだと思う。

(2) slidoへの書き込み (159件)

※いいねは賛同の数

※Slido元データを反映していますが、誤字等は一部修正しています

いいね数	Slidoへの書き込み意見
19	少年の森の利用者は子どもも多く、今日話している内容やこうした説明会を子どもたちに向けに行くことも必要かと思いました。また、子どもたちの声も聴く機会があるといいなと思います。
14	森の散策に使えるガイドシートがあると楽しそうですね！
13	何もない「ただの森」の魅力があると思う。逆になにもないからこそ余白を求めて人が訪れ癒されます。健康な森を維持することにはナラ枯れ対応も含め専門的な知識と技術が必要です。オープンエーさんや藤沢市の考えはありますか？今の森の状態について、森を管理してくれている職員さんたちのお話を聞きたいです。
13	今までの少年の森は子どものことを第一優先に、子どもだけで訪れても遊べる施設だったと思います。今後、民営が関わっていく中での優先は今まで通り子どもですか？それとも、大人でしょうか？
12	さすがみうらさん！サービスを受ける側じゃなくて自分たちで作っているという意識大事です。消費する事からの脱皮を妄想します。
11	森で音楽会やりましたよね！良かったですよ！
11	今までみたいに子どもたちのためのプログラムも必要だけど、大人ターゲットのイベントとかがあってもいいと思います。大人も楽しみたいです。
9	じにいさん（職員）の森の知識や技術の一つ一つを動画にすると面白いとずっと思っている。こんな面白い人がいる施設って何？！と行ってみたいくなる。
9	子どもがターゲットの中心（少年の森）。その周辺に大人もターゲットにしたコンテンツがあると理想。結局子供を連れて行くのは大人なので、大人にとっても魅力は必要。
9	今は子どもと一緒にっていますが、大きくなったら行かなくなると思います。なぜなら大人が行ってもつまらないから。それならば大人も一緒に楽しめる施設やイベントがあるといいと思います。
8	コーヒー屋さんとか、ちょっとゆっくりできて飲食ができる場所がほしいです。
7	公園ではない、というお話。制限がなく子どもたちの遊びと学びを広げることの出来る場所はとても貴重です。実際に少年の森で子どもたちが危険だと思われる遊びをしていても注意をされたことはありません。公共施設、地域が子どもたちの成長や学びを担保できることは非常に重要性であり、価値のあることだと考えます。
7	少年の森最近行きましたか？今雨だからこそ森の東屋に遊びに行こうと集まっている子どもの会が、森には集まっていますよ！
7	落ち葉にダイブしたい！！
6	キッズレンジャーいい！
6	穴掘りしたい！
6	森の美術館、散策路を歩くのが楽しくなりそう。

いい ね数	Slidoへの書き込み意見
6	焼き芋やりたい
6	アルコール(ビール)は不健全か？排除では無く…確かに青少年の為の施設と考えると不健全かもしれませんね。一方で親世代のニーズは一定層あると思います。とは言え、無条件にOKにするのは違うかもしれませんね。日や時間を限定する等？
5	色々な妄想は膨らみますが、少年の森はあくまで青少年施設ですよ？教育や福祉を目的とした施設ですよ？それをハブとして考えるなら、お金の問題や北部地域の発展は、少年の森だけをいくらデザインしても解決できることではないと思います。周辺地域をどう発展させ、どう少年の森と関連づけていくのか、市としての考えが知りたいです。
5	まさかアルコール持ち込み可ですか？子ども中心の森ですよ？
5	とてもキラキラしたお話でした！あそこでガイドしてWSやりたいなと思います。今現在あそこを日常的に使っているのですが、良いところともう少しこうなったらなと思うところがあります。デザインのために現地にいらっしゃったと思いますが、森のお医者さんの観点からは、どこに手を入れたら良いかとお考えですか？
5	パークレンジャーいたらいいな！
5	日大の生物資源学部との相性がとても良いはずなのに、コラボ企画が少ない。バイトの学生さんもいるのに。
4	藤沢は海のイメージが強い！森もあるという宣伝をガンガンしましょう！
4	青少年健全育成の視点はどこにいったのでしょうか？
4	パークレンジャーになりたい子どもたちもたくさんいるはずですよ!?
4	じゃぶじゃぶ池の水を抜いてみたいです
4	冬だと、土日は焚き火があるとか良いですね。焼き芋とか憧れるけれど自分たちでは出来ないですね。
4	少年の森へのアクセスが不便だと思います、人の集まりやすいアクセス手段が必要だと思います
3	一定の整備や管理をする上では、駐車場や施設を含めて、無料ではなく、最低限の利用者負担は必要だと思います。
3	少年の森維持管理する為の費用は、利益では無いので、保全活動費用は収入として活動も必要だと思いますけど
3	野川公園、こどもが小さい時に良く行きました。バーベキューや川遊び、ワークショップに参加したり大好きな場所でした。公園なのに公園すぎない所が魅力でした。
3	近所の公園では子どもは思い切り遊べないですよ。少年の森は公園じゃないから色々やれるんですね。確かに近所の公園では禁止が多すぎます。
3	森を再整備する中心になる方へ。1度は少年の森のイベントに参加してから話し合い、方針を決めてほしいです。新しいことをする事も素晴らしいと思いますが今少年の森で行っている事自体素敵な事ばかりなので、設備を綺麗にして今の少年の森を沢山のの人に知ってもらえるホームページ作りやSNSを活用してください。
3	里さんの意見に賛同です。ただ、里さんも苦労したように生産者に受け入れるだけの駐車場も整備できません。これは土地の問題ではなく法律の問題です。市でも包括的に整備の必要があるのではないのでしょうか？

いいね数	Slidoへの書き込み意見
3	少年の森に何を求めて来るのかを整理する必要があるかと思います。市内の人、市外の人、周辺の住民など求めるものがそれぞれ異なると思うので。
3	今まで大事に使ってこられた人達、団体の想いも大事だと思います。一方で新しく入ってきた若い世代もいたりしますので、そういった新しい人たちの意見も取り入れると愛される場所になりそう。
3	雨の日の課題は多々ありますがそもそも晴れの日集客が少ない。SNSの活用をうまく出来ないのでしょうか？
3	やっぱり屋根は足りてないよなあー
3	素敵なイベントが沢山あるのに広告や宣伝が弱い気がする。
3	映像では見通せる森でしたか、現在少年の森も遠藤笹窪谷公園も一部だけの地区に限られほぼ全域を見通し良い森とは言えません、透けて木漏れ日朝露等感じられる森が素晴らしいと思います
3	民間企業に丸投げするだけじゃない公民連携は素晴らしいと思いますよ
3	森、自体にフォーカスするのもわかりますが、佐藤さんのお話から、地域にフォーカスしたときに、何ができますか？
3	パークレンジャーっていう役職、かっこいい！！
3	少年の森の生物図鑑あったらいいです。
3	森の保全活動やアウトドア関係の活動は一つ一つを動画にしてyoutubeなどにアップすれば広報になります。動画撮影編集はバイトの大学生ならすぐ出来ると思います。運良くバズればクラウドファンディングを立ち上げて、なら枯れ対策費用等に当てることもできると思います。
3	収穫楽しいけど育てるのは大変ですよ。農家さんと連携して何かできたら面白そう。
3	自然の中で遊具が無くてもできる遊びいいですね！子どもに教えてもらいたいです！
3	雨の日のイベントはいいと思う
3	ゾーニング、季節、期間、曜日、時間で違う魅力やターゲットの広がりが生まれそうですね
3	佐藤さんが、今は、誘っていかないと体験の場が無い。すごく共感します。だから。子どもがどのように育つと良いのかという視点で、誘ったり、環境を作って行くことが私たち大人の役割ですよ
3	こどもの施設かどうか、ではなく藤沢市や近隣の方が「森を楽しむ施設」と考えればターゲットは年齢に囚われないと思います。
3	いろんな方が来る施設であれば、少年の森というネーミングが邪魔になるかも。ワクワクの森とかでよいのでは？
3	子どもたちが今までどおり遊べたり楽しめたりすることを前提に、大人も楽しめて地域も活性化するような再整備をしてほしい！
2	自然というのは、里山のような人の営みが入って維持されるものと、白神山地や樹海、険しい山岳のような人が入る必要のない自然があります。少年の森は里山ですが、その向こう側に、極相に向かう本当の自然があり、それは恐ろしく、気味の悪いものかも知れません。そこまで含めて多様性。その視点を含む環境教育の場になってほしいです。

いい ね数	Slidoへの書き込み意見
2	制限のない場所は、とても素敵です。残してほしい。
2	公園と違う森の魅力を大切にしてほしい。公園なの？森なの？と改めて考える機会になりました。森に普段入っているジニーさんや職員さんにも今の森のありのままの姿を聞きたいと思いました。
2	御所見地区の住民意見は入っているのでしょうか。地域プレイヤーをどうやったら巻き込めるのかも並行して考えていくべきだと思います。
2	少年の森の良さを知らない人が多すぎ。
2	隣接する遠藤笹窪公園と少年の森はいずれも市が管轄しているか、それぞれをどのように位置付けているのでしょうか。双方を含めた全体を語らず、少年の森だけ議論するのは片手落ちでは？
2	人を集めたいのですか？憩いの場として整備したいのですか？そんなに人を集めてしまえば公園としては狭すぎます。集める人が多くなれば、森の静かさもなくなる気がします。
2	少年の森の再開発では、範囲が狭いのではないか。遠藤笹窪谷を含めた里池里山を考えられませんか
2	デザインがすごく大事だと思います。ランドスケープもそうですが、サインや建屋のちょっとしたところも含めてしっかりデザイン性を確保してほしいですが、その点はどう考えていますか？
2	北部地域の魅力向上に寄与する。北部地域経済を高める。という視点をもつという意味で、少年の森以外の打戻地区も包括的に創造していく必要があるのではないかと思います。
2	今少年の森でやっている事と講演された方が紹介された事業が同じならばなぜ、少年の森は認知度が低いのでしょうか？
2	藤沢市に引っ越して来て子ども達を遊ばせる場所を色々探しましたが、少年の森の情報が出てきませんでした。最近口コミで知りました。情報発信はどのようにされていますでしょうか？
2	巨大で豪華な公共施設は建てないですね？コンテンツとか運営のソフト面に投資をしてほしいです！
2	説明にもありましたが、ハード面の整備も重要ですが、人や企業とのつながりによるソフト面を充実したい！
2	開発によりアミューズメント施設化して大混雑するのは嫌ですね。
2	森のなかでだけでない、ハブとしてのイメージをもっと聞いてみたいです
2	どんな場所になるのかわくわくします！
2	森というかアウトドアってお父さんが活躍しやすい場なので大人の男の方向けのプログラムは面白そう。お父さんに任せてお母さんはカフェでお茶したりも出来そう。
2	南も北もない藤沢市の魅力が集まる場でもあってよいのでは？例えば海のものも体験できたりとか。逆に森のものが海で体験できたりとか。
2	少年の森の上にある畑まで施設に含められるといいですね
2	温泉を隣接して作ったら曜日を問わず人の流れが確保できる？
2	他の施設だと有料級のハードなアスレチックも魅力ですね！

いいね数	Slidoへの書き込み意見
2	軽食とかランチも現地調達できたらいいな～
2	小屋があるといい
2	確かに食べれるスペースあったらいいなと思う。
2	基調講演を聞いて、御所見地区をナショナルパークとして再生させたらどうでしょう。周辺の御所見小学校、中里小学校、御所見中学校の3校で「少年の森レンジャー」を養成してほしい！
2	森の魅力は残しながらも、屋内スペースをなんとか確保できないかなと思います。建物を建てるのは難しいかなと思いますが、例えばティピテントなど、常設設置できそうな仮設のものを屋内空間として設置するなどできないかな？
2	外で遊べる施設なので、雨天時施設に注力するのはどうかとおもいます。あくまでも自然が環境の主演ですよね。
2	雨の日も遊べる場所があると楽しそうだと思います。
2	土日だけでなく、平日も気軽にお散歩の延長でママだけでも行ける、行きたいと思える場所があったらいいなと思います！
2	大人も子どもと一緒に楽しめること、楽しんでいる大人を子どもが見ることも青少年の健全育成につながるとは思います。そういうニュアンスもありでしょうか？
2	アンコール禁止であることには公共の青少年育成の施設として意味があると思っていました。皆さんどう考えますか？アルコールOKにしたら…？
1	今の時代、全部無料は流石に無理ですよ…。
1	青少年のための場所と大人の場所、無料と有料の場所をゾーニングしたら？
1	受益者負担の考え方は必要ですね。
1	川崎のプレーパークを真似するとか本当にやめてください。
1	ネットやSNSで検索しても少年の森の情報が出てこないの、近隣の市の施設に行ってみます。水遊びだったら平塚市総合公園、森だったら里山公園、屋内だったら大和シリウスとか、、全部藤沢市内で可能だったらうれしいです！
1	何も無いから、発想…妄想ではなくて、発想ですね。発想するのは、子どもは天才！！そのためにはなるべく何も無い自然環境が必要ですよーね。
1	雨の日は雨の日で、建物のなかなら別に少年の森に行かなくてもいい気がします。建物はいらぬ。
1	きれいにしなくても自然があればいいと思う。
1	子どもも大人に見張られず、自由に遊べる。大人も子どもが森に守られながら遊んでいるという安心感。そんな森だから、親子どちらも幸せに過ごせます。
1	遊びに制限が無いのいいですね！！
1	地域、市の魅力をどう捉えるか色んな視点からの考察が必要だと思います。簡単には捉えられない効果や価値をどう評価するか、どこに資金やエネルギーを注ぐか、行政の判断で市民の生活や子どもたちの環境は大きく変わるとは思います。
1	今日のお話はオンラインで発信や録画配信などをしてほしいです。子どもたちや子育て世代はなかなか土日日中に駅前までは足を運べなかったんじゃないかな、と思います。藤沢

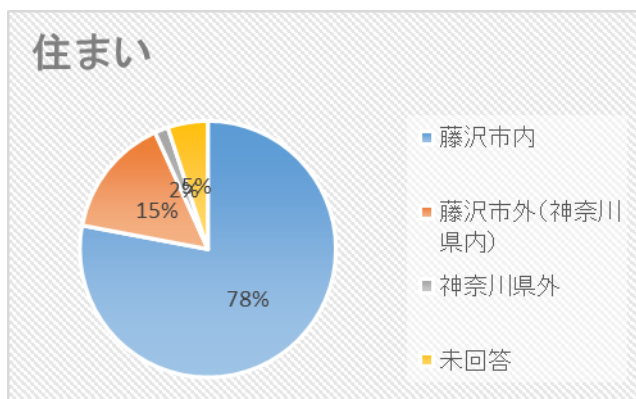
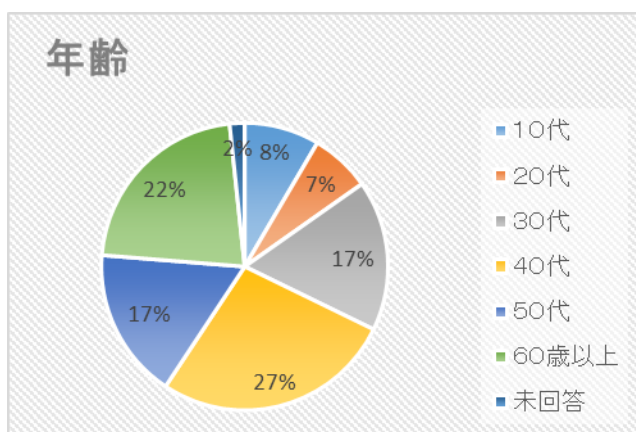
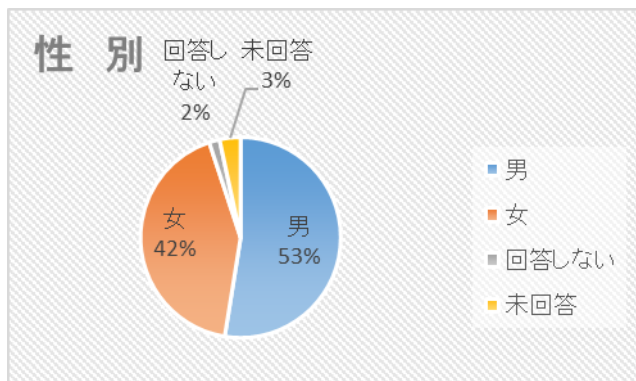
いいね数	Slidoへの書き込み意見
	市はぜひ多くの方に愛され、思い出になっている場だからこそ多くの方にシェアしてください。まだ知らない人がたくさんいます。
1	市の目指す森の姿と現場が目指している森の姿がいまいち見えてきません。
1	けっこう制限ありますよ。立ち入り禁止とかあるしテントだめとか、とくに少年しか使えないという最大の規制。
1	アスレチックは残してほしいけれど結構ぼろぼろなんですよね。残すのどれくらい費用がかかるんだろう。
1	少年の森を通じて周辺の地域もどうやって発展していくのか今後は楽しみです。
1	目的がわからなくなりました。
1	心配なのは今の青少年教育施設としての役目が大人の楽しみ方やレジャー思考で大切にされない事なんです。ディズニーランドでやっぱりアルコールは飲めるようにしてないのは子どもを1番に考えてるのかな〜とか思ってしまいます。シーは飲めるんですけど。
1	ターゲット層がわかりません。
1	大切な視点の1番目に地域の魅力向上であるのはなぜ？
1	子どもも大人も自然と気軽に触れ合える場所だといいですね。
1	土日も焚き火可能だったと思いますよ！
1	子供と過ごす場なので、親達はレストラン利用は物理的に難しく、季節の地場野菜を使った農家さんレシピを、週or月替りで掲載してくれたらありがたい。少年の森で教えてもらったメニューだよ〜と帰宅してからも子供と会話が広がると感じました！
1	伐採した木材でお風呂の体験会
1	なら枯れ対策の過程も市民参加型にすれば少年の森のコンテンツの一つになる。
1	温泉施設隣にあったらいいですね！森ではしゃいでその後お風呂は最高すっね！
1	少年の森の近くに屋内の施設が併設されるといいかもですね。「森」としては、雨で濡れたジメジメした環境も大切だと思います
1	雨の日も遊べるように考えればいい例えば泥んこ遊びとか
1	藤沢市は暑い日や雨の日に子どもが遊べる場所がないので屋内で遊べる場所もあったらいいなと思います。
1	障がい者や雨天時のことはなんとかしてほしいですね
1	世代を超えてということだと少年の森というネーミング自体どうなのかな？と感じます。少年の森だとどうしても子どもが行く場所と思うので、ファミリー以外は行ってみようとならないのでは？
1	斜めの関係…素敵ですね！子どもたちが関わる家族以外の大人といえば、学校の先生や習い事の先生くらいに限られているので、色んな大人がいるんだよってという意味で色んな人と交流させられる場になったらいいなと思います。
1	平日はワーケーションに特化したらいいかも？
1	野球をする場所が新しくなると良いと思います。
1	全世代をターゲットにするのは理想かもしれませんが具体的な構想資金が必要かと思いません。

いい ね数	Slidoへの書き込み意見
1	藤沢市の南側に住んでいると少年の森へのアクセスが厳しいです。自家用車が無いと、子どもを連れて荷物を持って、電車に乗りバスに乗り、歩くと、森の魅力が分かっているけど利用しづらい現状があります。森までのアクセスは市やみらい創造財団が何とか出来ることではないかもしれないけれど…。
1	相鉄が延線したら、もしかして歩いて行けるようになるのかな？
1	車がなくても行きやすいといいなと思います。
0	手入れ出来ていないのは荒廃、木こりでも何でも、自然は守るものでは、無いように思います
0	少年の森は、都会の中で自然に触れる機会の乏しい子どもたちが、自然に触れる入り口として機能すればと思います。そのためのハード整備、ソフト面の改善と思います。しかし、あくまで入り口であり、自然教育としては、広範な多様性の理解が必要と思います。里山を利用し、消費するだけでは「森」を舞台にする意味がありません。
0	資料のアンケート見ましたが、慶応大学、多摩大学、日大など学生皆さんにプランニングに関わって頂けると、事業への協働に繋がると思います。地元のご意見集約はどうするのでしょうか？
0	造園業者さんには、自然環境や生物多様性に詳しい方はほぼいません。専門家も色々ですので、そこは慎重に進めていただけたらと思います。
0	条例があるからの縛りがあります。条例があるから、安心な部分もあります。条例は。どう考えますか？
0	市はこの事業にとれだけの予算をかけるつもりなのでしょう？今でも地域の方が手弁当で修繕や事業のアイデア出しをしていると思います。市民レベルではできない最低限の整備のほかは、今の方たちに必要な費用を出した方が良いと思います。
0	今日のこの会に、山辺さん以外、少年の森の今の実態を知らない方が登壇して、今たくさん使っていない方が登壇していないのはなぜですか？
0	動画いいですね！このコメント欄見ても、施設の認知度が低めなのかなと思います。
0	今の少年の森は職員のクオリティの高さ（森の知識や子供との関わり方）で成り立っている面が大きいと思います。レンジャーの話もありましたが、人材育成は大きな課題。
0	ボランティアとの協働は必要不可欠だと思いますが、ボランティア任せの運営では、地域の担い手不足が進行している今、持続可能性に不安があります。
0	少年の森は宿泊施設迄有るのに利用制限等厳しいです。少年の森？広めたいのか？留まるだけで良いのか？
0	これを機に駐車場のあり方自体を見直してみるのはいかがでしょうか？ハイシーズンでないときの駐車場空きスペースの使われ方とか。
0	土日に満車状態…。逆に平日はスカスカなんだよな～。
0	同じ施設があってもお客の取り合いになりそうなので、少年の森の独自性を発揮した方が良さそう。それこそ市が説明した魅力を活かす方向に進めたら良いと思います。
0	農家の方の応援という点でも、少年の森が活用出来ると思います。
0	雨の音や寒さ、守ってくれる東屋、確かに管理棟がもう少し綺麗になったら良いかと思いますが、あれこれ足しすぎるより足りないけどそれが良い、その理由がしっかりとしたコ

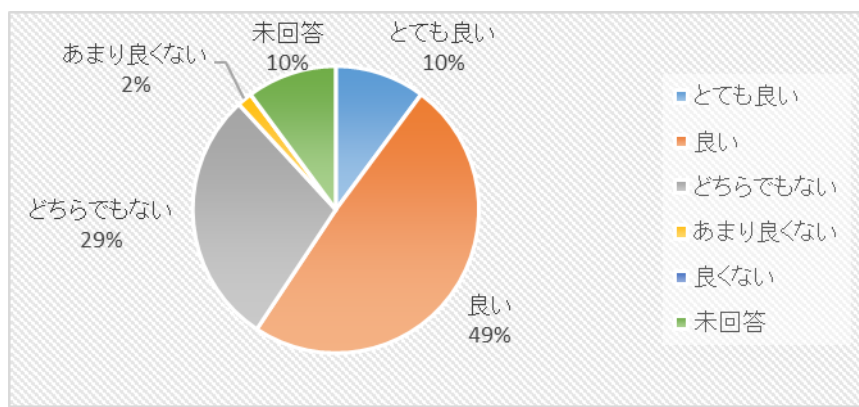
いい ね数	Slidoへの書き込み意見
	ンセプトの提案も考えられるのではないかと思います。大人に対しても同じだと思います。
0	メインにしたいターゲットはないのでしょうか？
0	藤沢市は決して有機農業が盛んではありません。今、増やそうとしているのだと思います。
0	今使っている一部の団体の人は現状維持バイアスがかかってしまっているんでしょうね。
0	農家さん多いの知らなかった。
0	森の声を聞ける人って素敵です。生きてるのは人間だけじゃないから。
0	青少年の育成について、佐藤さんの考え方に賛同です。
0	少年の森を起点に、環境教育の一環として、里山ではない自然を学ぶため、丹沢の森、屋久島などにツアーをするのはどうでしょうか。
0	ライトトラップ！賛成です
0	水源の近くの小川は区切り過ぎるのでなく、触ってみたいなと思います。
0	少年の森は、遠藤笹窪谷公園だけでなく、健康と文化の森との連携も意識してみても？周遊ルートの策定等
0	ツリーハウスを作って宿泊やカフェ！
0	笹窪谷公園と少年の森直線だと近そうですが現在は安心して通過出来る連絡路的な道は無いので、構想の中で出来ると良いと思います。
0	森の美術館、散策路歩くのが楽しくなりそう。
0	対象年齢を広げる場合は、湘南のいわゆるヤンキーのような少年・青年のたまり場にならないように気をつける必要があります。
0	名前（少年の森）の中に少年が入っているから障害がある人や女性が入れないのかな？
0	すべての世代が繋がることできるようにしたい。
0	全世代が楽しめる、関われる。というのはいいと思う。ただ、お酒に酔った大人があの空間をこわすことなどは、地域に愛されることを目指すならあってはならない。上手く分けることが大切ではないかと思います。
0	なら枯れは、どうしておこってしまうのですか？
0	この再整備の話が始まった時、藤沢市の財政状況とか、少年の森の維持費が増加しているとか、費用の話があった。しかし同時進行している市民会館の建替え説明では、費用の話は出てこない。市民の利用から考えれば、どちらも同様に扱うべきだと思います。
0	世代を超えて斜めの関係を作りたいといいますが、どのような斜めの関係でしょうか？
0	青少年活動施設であるための条件ってなんですか？また、公園の機能も有するのであれば、park-PFIの検討もされるのでしょうか？
0	一年の中での利用状況を教えてください。春、夏がメインなのでしょうか？
0	アスレックス施設は確かに修繕必要かと思っています。良く公園にあるカラフルでドキドキがあんまりないアスレックスになってしまうんですか？

(3) パブリックイベント参加者のアンケート回答結果（一部抜粋）

①回答者の基本情報



②（質問）基本方針(案)について



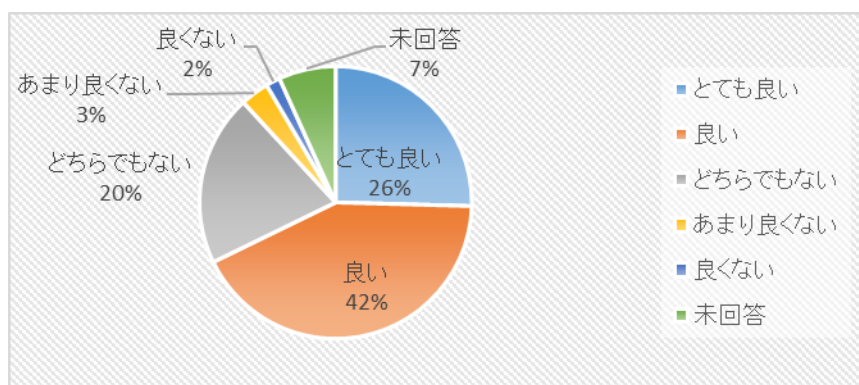
- ・とても良い、良い：59%
- ・あまり良くない、良くない：2%
- ・どちらでもない、未回答：39%

（自由記入）

- ・少年の森の現状や、求められている像が簡潔にまとめられて良い。
- ・森の形を生かした方針でいいと思うが、大人だけのグループを対象に入れると、湘南のマナーの悪い人達に注意しなければならない。中高生のたまり場にしない。
- ・基本方針（案）の「大切な視点」は大切だなと思ったので、この視点をぶれずに進めてほしい。
- ・一般市民、NPO、企業等の声を聴き方針に反映することが判った。
- ・今の森を大幅に変えるのではないとわかった。
- ・まだまだこれからと感じさせられ、決まってないことでわくわくした。
- ・コストを掲示してコスト意識をもつことを明示している点が良かった。
- ・現在の魅力を残しつつどのように課題を解決して新しい少年の森に生まれ変わるのか楽しみにしています。
- ・現状がよくわかった。
- ・施設のリニューアルは仕方ない。
- ・より良い再整備の方向に期待します。今の少年の森でやっているイベントや連携の事例もたくさんあります。そこも皆にシェアして頂いた上で今日の話をしてよかったかと思えます。
- ・どれも素晴らしい内容ですが、子どもを真ん中のおいた青少年の場からどう変更、広がるのかなどまだわかりにくいかなと思いました。
- ・今の森、思いを大切にしてほしい。目指す姿が抽象的過ぎ。
- ・色んな方向を向きすぎてよくわからない。

- ・とても大きな方向性だけの段階で、みなさんイメージできないと思う。
- ・まだよくわからず、とりあえずコンセプトワードの”キャンパス”は良いけど、教育的過ぎてもな…と。エンタメ性が欲しいですね。
- ・設立趣意書レベルの内容。「再整備」のためには具体的なプラン（行動計画）と真摯に取り組む推進するパワーが必要。
- ・青少年をターゲットとして限定しない、青少年育成に限定しないことを強調してほしい。
- ・「今の森は青少年教育施設です」というのをきちんと明記してほしい。
- ・少年の森の話がもっと聞きたかったです。
- ・毎回トイレを使用するたびにキレイにお掃除されていると感じていたので、課題に上がっていて少し驚きました。
- ・「一緒に作る」というが、企業を決めるところから、その前の段階からではないのかと思った。
- ・利用者が減っている理由の分析をどこまでしたのでしょうか。
- ・地域住民への説明は欲しい。

③基調講演について



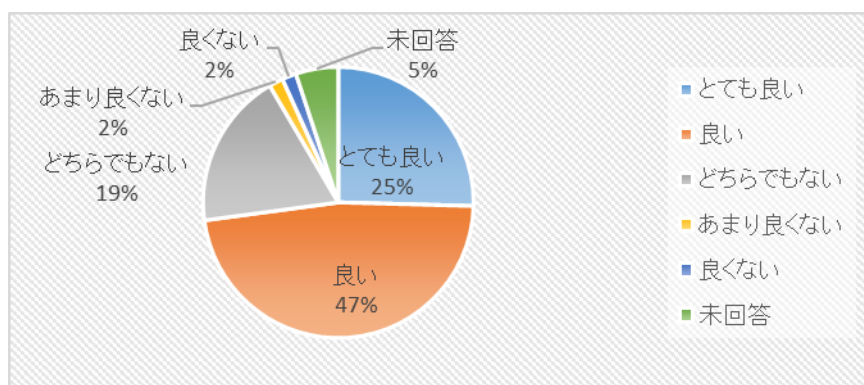
- ・とても良い、良い：68%
- ・あまり良くない、良くない：5%
- ・どちらでもない、未回答：27%

(自由記入)

- ・子どもが成長して、公園に行く機会はめっきり無くなってしまったが久しぶりに行ってみたくなった。
- ・いろんな事例を知ることができた。
- ・世界的にもグリーンインフラが重要視されているのだなと思った。
- ・佐藤さんのお考えに共感。

- ・キッズレンジャーは取り入れてみたい。自然でそのまま遊ぶイベントを組むのはよかった。それには森を生かす形をとってほしい。
- ・森の面白さを気づかせてくれた。森を持続的に守り育てていくプログラムをわかりやすく教えていただいた。
- ・結局のところ欧米の都市のあり方を後追いするしかない。NY、Londonの都市のあり方が日本の都市緑化のあるべき姿とイコールになってしまうのはどうかと思ったが、実践はともいいと思った。
- ・市北部の土地柄、自然は切り離せないので、生かして少年の森を再整備してほしい。
- ・公園が「ある」ことが当たり前ではないと市民が意識して初めて良い公園になると思う。
- ・海外の公園や都市内での森の話がおもしろかった。イベントなどは少年の森でもやっているものも多かった。
- ・イベントは楽しそうだが、少年の森に生かせる話が少なかった。
- ・理想ではあった。いいものを知れたが、少年の森に当てはまらないものも多かった。
- ・緑、公園はすばらしいという、誰もが納得する内容だが、少年の森ならではの話はない。
- ・今少年の森で実践されていることだったので、違う内容の話を聞きたかった。
- ・とても良いと思いつつ、この団体が運営することになるのでしょうか？
- ・この基調講演の時間はただ聴くだけ？
- ・自分がしていることの発表だった。
- ・想像どおりの内容。参加者に「役に立つか」「楽しかったか」「共感できたか」聞いてみてください。
- ・少年の森の話がもっと聞きたかったです。
- ・とてもよいお話でしたが、同じことを少年の森ですでにやっているなら、少年の森の実際の話をもっと聞きたいと思いました。

④ トークセッションについて



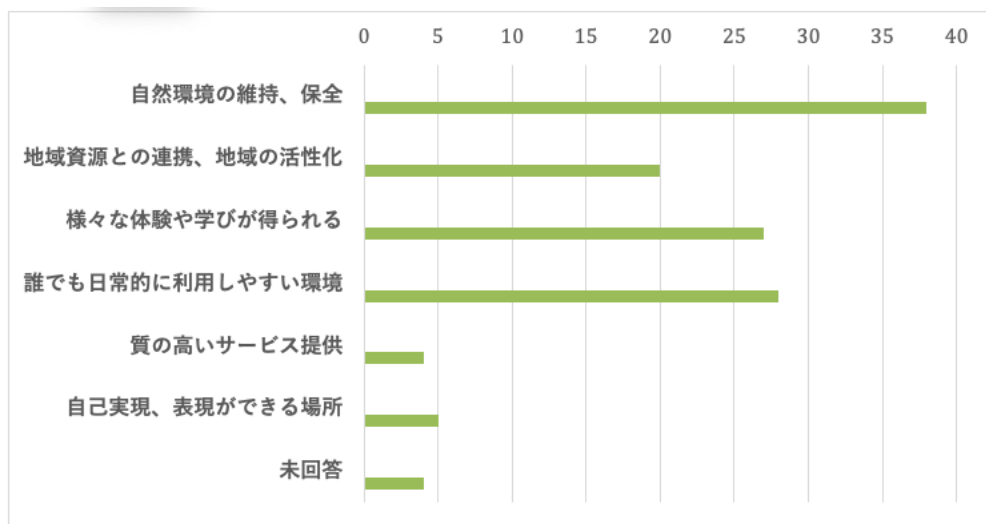
- ・とても良い、良い：73%
- ・あまり良くない、良くない：3%
- ・どちらでもない、未回答：24%

(自由記入)

- ・子どもの意見をもっと聞けるような機会を作ってほしい。
- ・わくわくするアイデアがたくさん聞けてよかったです！
- ・現状の良い点を、これからどう活用するか（していくか）方向が分かってよかったです。
- ・いろいろなアイデアがあって楽しかった。すべてかなえられたらすばらしい少年の森に生まれ変わりそう。
- ・様々な視点からの意見があって良い。
- ・いろいろな意見を聞いて良かった。
- ・森なの？公園なの？というところを改めて考えさせられる内容でした。
- ・農家の方の支援にもつながりそうだった。
- ・いろいろな立場の人ができること、やりたいことを中心に考えてお話していらっしゃって、わくわくするポジティブな気持ちになる内容でした。
- ・子どもたちの学びの場が残ることで安心した。
- ・雨の日に、雨そのものを楽しめる仕掛け？設備？があるとおもしろいと思うし、貴重ですね。
- ・異なる立場の登壇者からの色々な意見を聞くことができた。
- ・それぞれの立場で方向性は同じと感じられた。
- ・森の現状を知っている人が少ない。森を残すのか、無くして新しく何かを作るのかは早く決めた方が妄想がまとまるかも。
- ・今の森の状況を話せる人がもう少し多くてもよかった。
- ・少年の森を知っている、活用している人がもう1～2人登壇してほしかった。
- ・登壇者が少年の森をあまり知らない。
- ・財団からは希望・要望が多く、妄想というトークセッションの主旨の話を聞きたかった。基本的に変わらずにきれいになれば良いという考えのように感じ、自然、みどりが大事といいながら屋根がほしいとか駐車場とか矛盾がある。
- ・大人のレジャー思考中心でした。少年の森の意味をきちんと押さえて、それに対してできることを話したい。
- ・指定管理マネジメントは妄想ではない。実践である。
- ・内容、やり方は良いが、地元の人、農業の人が入ってほしい。

- ・大人が楽しむ視線は良くない。子どもにとって大切なことは大人にとってもっと必要。たのしさが本物でないと「子どもがたのしいこと」が大人がつまらない感覚はちょっと？「子どもだまし」でなく。
- ・百花繚乱、斬新なアイデアはなかった。
- ・質問が恣意的に感じた。主語が“公共施設”から“青少年施設”になると違う内容になるのでは？
- ・会場の意見を聞く時間がもう少し欲しい。
- ・質問の回答があるともっとよかった。
- ・ディスカッションにしてほしい。Slidoの意見もどう反映されているのか分からない。
- ・ディスカッション型にしてほしい。出てくる意見が実際に今の森でやってることが多かったのでもまずは周知をしてもらいたい。

⑤（質問）今後の少年の森再整備にどんな効果を期待しますか

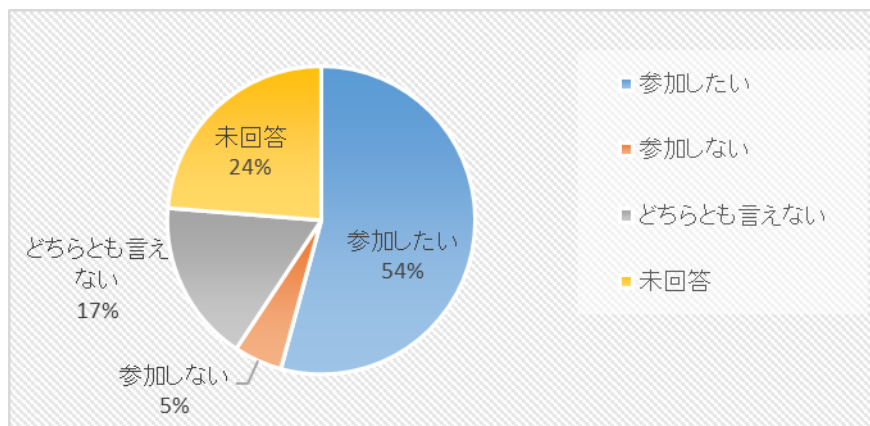


（自由記入）

- ・自然環境との共生が目で見えて実感できる場。
- ・なるべく制限のない、子供達がのびのび過ごせる場であってほしいです。そのため、自然環境の維持、保全、人々のかかわり、は大切な所と思います。シンプルなただの森があるというのは今とても貴重と思います。それをどう楽しむかは百人百通りと思います。そのすべて百通りは無理でもなるべく多くの方が楽しめる場であると良いです。
- ・森を整備して子どもたちに森の体験がいろいろできる場にしてほしい。
- ・今の森の強みを強化した施設。時期・時間帯で利用する人が違うので、使い分けをはっきりさせたい。土日祝→子供、平日AM→大人、平日PM→子供。
- ・子どもも大人も学べるキャンパスパーク。

- ・今より使いやすい（大人1人でも）森になってほしいです！
- ・藤沢市内の数少ない「森」です。大切に保全したい。
- ・里地里山の豊かな自然を守ることは大切です。
- ・森を生かす形をとってほしい。少年の森の良さは森とともにあることだと思ってます。加工した自然でなく、森が生きる、地元の人達が気軽に来るとような場所であってほしい。今の少年の森のような良い所、大切な所は残してほしいと思います。
- ・自然、森をそのまま感じられる。なるべく人工的なもの何もない余白ほしい。
- ・西北部の農業、農家の方との共存、連携による魅力向上。
- ・主目的は自然を中心としたものにしてほしい。地域活性化は2番目がいい。
- ・御所見の活性化。
- ・藤沢らしい、藤沢ならではの、ゆめパーク
- ・公的な施設は”全ての人”のために、その上で森に何を求めるのか、もっともっと市民含めて話し合う場が必要だと思った。
- ・公園とは違う「森」の魅力大切にしてほしい。森に普段入っているジニーさんや他職員さんにも話を聞いてほしいし、私たちも話を聞きたい。
- ・アスレチックの安全性と森の良さの広報・周知を期待。新しいことをするのではなく今の課題を良くして。
- ・学校とか教育団体が日常的に使えるように。
- ・今の条例を変えて欲しくありません。
- ・民間の事業者、プレイヤーを主体にする。メリットを可視化する効果を期待します。
- ・再整備に取り組む真の目的をたとえば教育とか（総花的ではNG）明らかに規定、市民に明示した上で、本気で取り組む（人材、予算を確保）目的を選択と集中しなければ、必ずや中途半端になる。
- ・子どもだけでも安心して遊べる少年の森であり続けてほしいです。無料で遊べるみんなの森であり続けてほしいです。
- ・今は大人も子どもも安心して無料でのびのび、のんびり過ごせる場所がほんとうになくなってきたなと思います。公共施設だからこそ、誰もが安心して無料で利用できるという点は死守してほしい。社会的弱者の方たちも気がねなく使えるという市民のベースキャンプとしての役割を持続し続ける施設であってほしいです。
- ・予約の簡素化。
- ・少しわからなくなった。

⑥（質問）ワークショップへの参加意向について

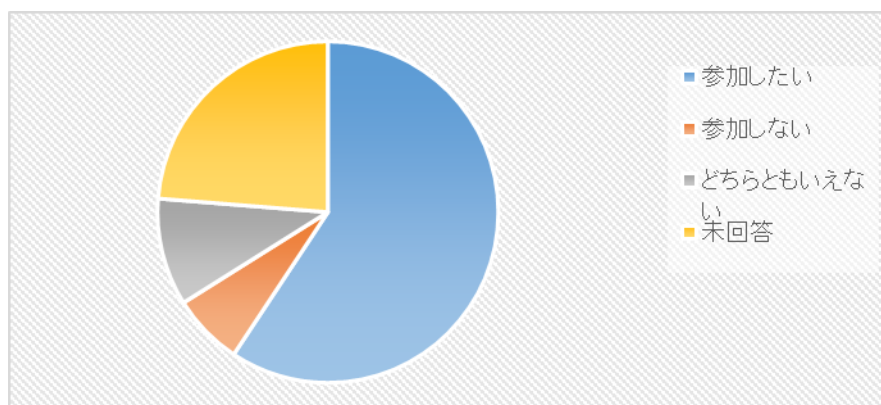


- ・参加したい：54%
- ・参加しない：5%
- ・どちらとも言えない、未回答：41%

（自由記載）

- ・自然・子供のための方針なら参加したい。
- ・今後が気になる。
- ・関係者が多く集まるWS（身内な話）になりそう。子供が多く参加できるようなものであれば良いと思う。
- ・森の観察、木の実で物づくり、木の枝のあそび。
- ・森の手入れ（かんばつ、落葉掻き、枝打ち）。
- ・発信しないとただの公園になりそう。
- ・子どもも連れて来れるようなワークショップ（短時間、騒いでもOK、子どもスペース）。

⑦（質問）このようなイベントにまた参加したいと思いますか。



- ・参加したい：59%
- ・参加しない：7%
- ・どちらとも言えない、未回答：34%

（自由記載）

- ・再整備にあたって、一緒に取り組んでいる感じを得られるため。
- ・お花畑では税金の無駄になってしまうので。
- ・「slido」は気軽にコメントができるため良かったと思います。
- ・子どもたちの話を聞く機会をつくってみては？何度もやるべきかと。
- ・若い世代の方が多く参加していた。
- ・様々な意見が聞けたため。

⑧（質問）イベントの中で記憶に残ったお話、少年の森での思い出、その他ご意見等ありましたら。

（自由記載）

- ・子供がアスレチックで楽しんでいた！
- ・少年の森の維持にお金がかかるのは、当然と思います。お金をかけてでもぜひああいっぱい場所がある藤沢市であってほしいと思います。
- ・川崎のフリースペースえんのような場所があるといいという声。
- ・少年のイメージが男の子供なので、「五感の森」等にかえてはどうか？マイクロバスの送迎サービスを行い、民間の「化学教室」や「英会話学童」等子ども団体がイベントとして行けたらうれしい。
- ・15年少年の森でイベントに参加していました。自然を残しつつ、今の時代に合った場所になってほしい。
- ・少年の森に遊びの制限はないこと。

- ・慶応大学や日大などと企画づくりやっではいかが？
- ・地域（打戻）の人たちは利用が少ない。自然環境は少年の森も自宅も同じ。楽しいイベントがないと遊びにこない。
- ・周辺の農家の収穫日が掲示されて、というのは面白いと思った。
- ・北部地域の生産者は、少年の森が適地なのか、本当はどう考えているのか知りたい。野球場に全く触れなかったがどうなるのか。
- ・この質問や意見のツールいいと思います。
- ・オンラインで発信、動画配信してください。多くの方とこの再整備についてシェアすることが大切だと思います。子どもにも場を開いてほしいです。
- ・森でのアルバイトは楽しかった。
- ・書き物が多いので机がほしい。
- ・次第がほしいです。